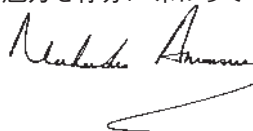
ライオン誌10月号2008年(平成20年)9月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第51巻第4号
THE Lion
IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International
10
第51巻
第4号
October 2008
THEME ALERTプログラム
緊急事態発生!
その時ライオンズはどう動くか

第6回LCIFスタディ・ツアー

LCIF交付事業視察と世界遺産の旅

日本のライオンズの皆さんに、LCIF交付事業を視察して頂く恒例のスタディ・ツアーも既に6回目を迎えました。これまでインド、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナムを訪問しましたが、今回の視察地は私の母国スリランカとなります。ツアーでは、視力ファースト眼科病院及びインド洋津波被災地の復興状況（ライオンズハウス）を中心に視察します。また、スリランカには五つの世界遺産があり、このツアーではそのうち、「聖地キャンディ」、「古代都市シギリヤ」、「ダンブッラの黄金寺院」もご覧頂けるように設定しております。

ぜひ、多くの方にご参加頂き、我々の誇りLCIFのプロジェクトをご自分の目で確かめ、また「光輝く島」スリランカの魅力を存分に味わってください。スリランカのライオンズも、皆さんのお出でを心からお待ちしております。

ライオンズクラブ国際財団理事長
マヘンドラ・アマラスリヤ

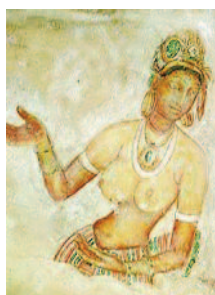
第6回LCIFスタディ・ツアー旅程表

日付	内容
1月16日(金)	成田空港11:00→バンコク15:30（TG-641）
	中部空港10:35→バンコク14:35（TG-645）
	関西空港11:45→バンコク15:35（TG-623）
	福岡空港11:45→バンコク15:05（TG-649）
	バンコク22:15→コロンボ24:01（TG-307）
1月17日(土)	交付事業視察（視力ファースト眼科病院）
1月18日(日)	交付事業視察（津波被災地復興支援事業）
1月19日(月)	交付事業視察／観光
1月20日(火)	コロンボ→キャンディ（バス）
	世界遺産観光（キャンディ）
1月21日(水)	キャンディ→コロンボ（バス）
	世界遺産観光（シギリヤロック、ダンブッラ）
1月22日(木)	コロンボ01:20→バンコク06:15（TG-308）
	バンコク07:35→成田空港15:45（TG-676）
	バンコク11:00→中部空港18:40（TG-646）
	バンコク09:20→関西空港19:30（TG-620）
1月23日(金)	バンコク00:50→福岡空港08:00（TG-648）

※滞在中のスケジュールは一部変更になる場合もあります。

ツアー費用：298,000円（1人／2人1室利用料金／食事付）
※任意：1人部屋利用追加料金50,000円／ビジネスクラス追加料金概算180,000円／スリランカでの寄付2,000円
申し込み締め切り：2008年11月28日（金）

●ツアー企画
ライオンズクラブ国際財団（LCIF）
担当：田辺憲雄（資金開発課課長）

●ツアー取扱
協和海外旅行株式会社
〒113-0033東京都文京区本郷4-5-10
サンファミリー本郷202
TEL:03-3816-7971　FAX:03-3816-7977
E-Mail : kyowa@kyowa-kaigai.jp
担当：野口正二郎（東京関東ライオンズクラブ）

●視力ファースト眼科病院：スリランカにおける主な失明原因は白内障。アマラスリヤ理事長によると、「人口2,100万人のスリランカでは年に約5万件の白内障手術が行われているが、依然として30万人の待機患者がおり、更に毎年14万人以上が新たに加わる」という。今回のツアーでは、その最前線で活動するコロンボの眼科病院を視察する。

●インド洋津波災害復興状況：LCIFは総額約1,500万ドルの交付金をインドネシア、タイ、スリランカ、インドの津波被災者支援のために拠出した。スリランカではライオンズクラブと住宅担当省が協力し3,000戸のプレハブ住宅を建設。政府が土地を提供し、ライオンズが開発作業を管理した。

●聖地キャンディ：シンハラ王朝がイギリスに滅ぼされるまでの約300年間、都として栄えた。釈迦の歯を納めた仏歯寺は、仏教徒たちの強い信仰の対象となっている。

●古代都市シギリヤ：獅子山を意味し、樹海から突き出た岩山シギリヤロックの頂上には5世紀に築造された宮殿跡が残る。岩山の壁面に描かれたフレスコ画「シギリヤ・レディー」で有名。

●ダンブッラの黄金寺院：紀元前1世紀から20世紀初頭まで、脈々と受け継がれ増改築を重ねたスリランカ最大の仏教石窟寺院。「黄金寺院」は金箔で覆われた160体以上の彫像に由来。

※第6回LCIFスタディ・ツアーに関する詳細は、左記の協和海外旅行株式会社へお問い合わせください。

伝統を受け継ぎ奇跡の実現を

ライオンズであることの利点の一つは、奉仕の基盤が既に十分に固められていることです。皆さんが青少年の幸福を願うなら、クラブでライオンズクエスト、レオクラブ、平和ポスター・コンテストなどに取り組むべきです。他国の人々の生活を改善したいと思えば、ユニセフのスクール・イン・ア・ボックス・プログラムが最適です。自然災害の惨禍に心を痛めている人は、アラート・プログラムを通して被害を最小限に留め、大災害が発生した時にはLCIFに献金するとよいでしょう。

各クラブは当然、ライオンズのこうしたプログラムを優先すべきです。私たちは時として他の組織のプログラムを重視し、支援や資源を提供します。パートナーを得て協力し合うことは大切であり、その存在は私たちにとって不可欠です。しかし、常に与え続ける必要はないということに留意してください。ライオンズのプログラムを活動の中心に据えて、地域社会の改善に指導的な役割を果たそうではありませんか。

まずは会員同士で協力関係を築きましょう。ライオンズの仲間ほど、すばらしいパートナーは存在しません。私たちは時折、他の組織の目的に信頼と支援を寄せるあまり、市内、国内、世界中のライオンズとの関係をおろそかにしてしまいます。ライオンズには確固たるネットワークが存在し、その利点を生かさなければなりません。

同時に、従来のパートナーを支援することも大切です。何もかもあなたが初めから構築し直す必要はないのです。既存の極めて有効なパートナーシップを通して、地域社会奉仕を強化することが出来るのですから。ライオンズはスペシャルオリンピックスというすばらしい組織と提携し、オープニング・アイズ・プログラムを実施しています。また、ハビタット・フォー・ヒューマニティーと共に家を建て、カーター・センターと協力して河川失明症を予防しています。

適切なプログラムを活用すれば、クラブの奉仕活動を推進し、次の段階まで高めることが出来るはずです。一人で新たな道を切り開かずとも、困難な仕事の一部は既に成し遂げられています。ライオンズのプログラムにエネルギーと情熱を傾け、既存のパートナーと協力すれば、皆さんのクラブはその成果に目を見張ることになるでしょう。これまでのライオンズも現在の仲間たちも、誇るべき奉仕の伝統を示してくれています。私たちはこうした伝統を受け継ぐことで、さまざまな奉仕の奇跡を実現することが出来るでしょう。

Al Brandel

2008-09年度国際会長
アルバート・F・ブランデル

THE LION MAGAZINE IN JAPAN
October 2008, Vol.51 No.4

We Serve CONTENTS

2008年10月号　表紙
栃木県日光市
小田代ケ原
■詳細はウェブマガジンで
https://www.thelion-mag.jp

THEME **ALERTプログラム**

緊急事態発生！
その時ライオンズはどう動くか

写真提供／神戸市

写真提供／神戸市

U.S. Navy Photo by Photographer's Mate 2nd Class Jim Watson

Photo by David Rydevik

ライオンズ・アラート・プログラム

ALERTプログラム

災害は必ず起きる。

災害が起きると支援が必要となる。

alert
形 油断なく警戒して、注意怠りない、機敏な
名 警報、警戒態勢、非常待機
動 .....に警報を出す、.....に警戒態勢をとらせる

ライオンズはこれまで、災害の被災者に支援の手を差し伸べ、危機に際して地域社会に奉仕してきた。アラート・プログラムの使命は、緊急時の対応に適したシステムとネットワークを構築して、危機に瀕した人々に奉仕すること。

思いがけない事態に途方に暮れ、助けを待つ人々の元へ、必要な支援を少しでも早く届けるために、プログラムは組織作りや計画の立案などの方法を具体的に示して、緊急事態に備えるよう促している。

緊急事態は一家族だけに影響を与えることもあれば、市町村単位あるいは国全体に影響を与えるものもある。緊急事態の深刻度により対応のレベルが決まる。ライオンズは重要な支援の供給源あるいは救援隊の役割を果たして、緊急時や被災後に生じるニーズに対して援助することが出来る。

レベル1
少人数にのみ影響を与える緊急事態。地域の緊急事態として地元での対応が必要となる。家屋の火災や局所的な洪水など。単独クラブでも、影響を受けた人々を支援したり、飲料水や食糧、宿泊場所や衣類などの必需品を提供することが出来る

レベル2
より大きな地理的区域に影響を及ぼす緊急事態。竜巻、台風、地すべりなど。地区として組織的な対応が必要になる。このレベルでは政府やその他の救援機関が初期救援努力に関与することが考えられる。地区にはLCIF緊急援助金申請の可能性がある

レベル3
何百あるいは何千の人々に影響を与える緊急事態。一つあるいは複数の複合地区が共同で、津波や地震など大災害の被害者救援を行う。初期救援を提供する政府や赤十字、その他の救済組織と共に人道的支援を提供する

●ライオンズ・アラート委員会を組織する

地区及び複合地区で、ライオンズ・アラート委員会を組織し、地域における緊急事態に対応する。地区ガバナーまたは協議会議長がチーム・メンバーを選ぶ。メンバーには次のような役割がある。
- 委員長（国際本部との連絡係）
- 副委員長
- 行政との連絡係
- NGOとの連絡係
- 地域との連絡係
- マスコミとの連絡係
- 緊急事態対応専門家やボランティアのチーム

地区／複合地区のウェブサイトには、各チーム・メンバーの責任と役割について情報を提示する。ウェブサイトは緊急事態の管理に際して重要な情報センターになる。

委員会のメンバーには次の人たちも含む。
- 緊急サービスを提供する専門家
- 緊急事態対応技術について訓練を受ける用意のあるライオンズ
- ライオンズ以外の緊急事態対応者（警察官、消防士、援助機関職員など）

●緊急事態対応計画を立てる

ライオンズ・アラート委員会は地域のニーズに対応した計画を立てる。計画では地域の危険要因を確認する必要がある。委員長は行政当局に緊急事態計画があるか確認し、既にある場合は更に必要なニーズを特定する。緊急事態対応計画には他の組織との調整や緊急事態準備のスケジュールなどを含む。委員会は毎年必要に応じて計画を評価し修正する。また、オペレーション・センターとして使える集会場所を確保する必要がある。

効果的な計画は、以下の質問に対応可能なものである。

- 特定の災害において、最も影響を受けやすいのはどのような人か
- 即時の対応を提供出来る人は誰か
- 緊急事態の調整はどこで行い、どのように管理するか
- 避難が必要か、必要な場合は人々をどこに誘導するか
- それぞれのアクションのスケジュールは何か

緊急管理には四つの段階がある。対応計画では出来る限りすべてに対処出来るようにし、状況の深刻度により対応を決める。

- 緩和（予防）：予防策を講じ災害の影響を軽減。費用効率の良い方法
- 備え：緊急時に備えたアクション・プランの作成
- 対応：計画に定義された緊急サービスの稼動
- 復興：家屋の再建やインフラ整備、再雇用など

地区または複合地区はライオンズ・アラート緊急援助基金を確立し、緊急事態対応計画の準備及び実施に資金を提供する。計画を作成したら、地元の責任者や初期救援組織に緊急援助を提供する意志があることを伝える。

●公衆衛生の危機に事前に対応

20世紀にはインフルエンザの世界的流行が3回あった。最初の大流行は1918年で世界で5千万人以上が死亡、2回目の1957年は100万～200万人、3回目の1968年には70万人が死亡した。近年では1997年に香港で鳥インフルエンザ、2003年には中国で重症急性呼吸器症候群（SARS）の感染事例が報告され、SARSでは全世界で8,098人が感染、774人が死亡した。インフルエンザによる死亡件数は著しく減少しているのは公衆衛生の改善、健康管理、蔓延予防に関する教育による。ライオンズは地域社会のリーダーとして、インフルエンザの予防について地域の人々を指導することが出来る。

蔓延を最小限に抑えるための情報を、下記の方法で伝達する。

- 地元の医師やヘルスケア専門家を招き、病原菌の蔓延を抑える方法について講演してもらう
- 地元マスコミに報道記事を投稿
- 学校や高齢者センター、コミュニティー・センターなどでの公開セミナー
- 健康フェアの開催
- 情報を掲載したチラシの配布
- 官庁舎、学校、医療施設、駅など公共の場にポスターを掲示
- クラブ会員の勤務先への情報提供

●緊急時の効果的なコミュニケーション

緊急事態や災害の際は効果的なコミュニケーションを図ることが必要不可欠となる。コンピューター、携帯電話、固定電話、無線などの機器を使い、地元の担当責任者や他のライオンズ、マスコミに緊急事態について通報する。

地元のマスコミはライオンズ・アラート・プログラムで重要な役割を果たす。報道を通して、市民はライオンズが「ウィ・サーブ」というモットーを実現していることを知る。更に、ライオンズの旗を掲げて緊急事態の援助に参加していることを人々に示し、ロゴ入りのベストやシャツ、帽子などを身に着ければライオンズの存在が明らかになる。ユニフォームは活動に参加する会員に誇りを抱かせる効果もある。いかに貢献しているか知ってもらうことで、地域の人たちが将来ライオンズの奉仕に参加してくれる可能性が生まれる。

●公式サイトの活用

地区ガバナーまたは複合地区協議会議長はライオンズ・アラート委員長の氏名と連絡先を国際本部に報告し、質問や援助の申し出が適切に伝わるようにする。委員長のリストは協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）に掲示。またウェブサイトでは、各委員長が緊急ニーズの要請を掲示することも出来る。

●アルバート・F・ブランデル国際会長インタビュー

ライオンズの人材を生かした緊急支援の実現を

「当時のことを思うと、今でも感情が抑え切れないのです」。２００１年9月11日、ニューヨークで起こった同時多発テロによって人生が変わったと言うブランデル国際会長は、インタビューの途中で一度だけ言葉を詰まらせ、小さく深い溜息をもらした。

大惨事の直後から、警察官として、またライオンズとして救援活動に奔走した会長に、9・11の経験と、緊急時のライオンズの役割、その備えについて、後藤隆一、栢森新治、杉本忠夫国際理事が聞いた。

――同時多発テロが発生した直後の会長ご自身の行動、また地元ライオンズの活動について教えてください。

「私がまず最初にしたのは家族の安否確認です。幸い皆無事でしたが、私と妻モーリーンは友人5人を失いました。

次の行動は職業上の任務によるものです。警察官として勤務していたロングアイランドにも多くのけが人が搬入されると予測し、病院の支援に向かいました。しかし、その必要はありませんでした。生存者の数が少なく、ニューヨーク市内だけで対応出来たのです。私の仕事は、行方不明になった管轄地域の住人３５０人の身元を確認するため、家族の元を訪ねてＤＮＡサンプルの採取を手伝うことでした。

その後、自宅の地下室にニューヨーク州（20複合地区）のライオンズが集まって会合を開きました。私たちは即座に行動を起こす必要があり、緊急支援に必要な活動資金の調達に取りかかりました。何をなすべきかマニュアルはなく、非常に特異な経験でした。

私たちは元地区ガバナーが務めるボランティア委員長をコーディネーター役として、さまざまな救援活動にボランティアとして従事しました。アメリカ連邦緊急事態管理庁（ＦＥＭＡ）との連携による活動の他、ハーバード大学財団がグラウンド・ゼロ近くに設置した倉庫に、平日には毎日ボランティアを派遣しました。そこでは現場で作業する消防隊員や警察官に、ユニフォームや手袋、ブーツ、ソックス、水、ナイフなど救援活動に必要なあらゆる物資を支給していました。ライオンズは倉庫で配布を手伝い、毎朝彼らが現場に向かう時、また仕事を終えて戻ってきた時にその話に耳を傾けました。それこそ、彼らを支えるために果たした重要な役割だったと思います。

惨劇の翌日には、私たちは救援活動

にあたる人々に昼食を提供し、最初の数日間はグラウンド・ゼロに近いジュリアーニ市長（当時）の事務所へ食糧を届けました。ある時、消防隊員や警察官たちには手術用マスクが必要だと知りました。粉塵がひどく息が出来ない程だったのです。私たちは医師であるモーリーンの勤める病院やその他の病院から手術用マスクを集めました。

それから調査委員会を設立し、LCIFの資金協力を得て、この大惨事で一家の柱を失い苦況に立たされた家族への家賃補助を始めました。また、犠牲者の子どもたちが学校へ通ったり、生活必需品を購入するための援助も手掛けました。これらは短期的な支援でしたが、調査委員会は適切な援助がなされるよう、家族から提出された申請書類を慎重に調査しました。また、犠牲者の家族の中には英語を話せない人も多く、彼らには政府に支援申請する書類の作成に手助けが必要でした。ニューヨークには多国籍の会員を抱えるライオンズクラブがたくさんあり、多くの会員が彼らを手伝いました。

悲劇の発生から2年後には、犠牲者の家族、特に子どもたちのために『リトル・ヒーロー・キャンプ』を開催しました。子どもたちはさまざまな問題に直面し、中には犠牲者の家族として注目を集めたことで、友人たちに嫉妬の目を向けられた子もいました。なぜそんなことが起こるのか理解出来ないのですが。私たちは彼ら家族が共に集い、自分たちは決して孤独ではないということを理解してほしかったのです。カウンセリングも提供しました。

2年前まで、私たちは心に傷を負った人たちの避難場所となる研修を続けていました。家族を失った被害者だけでなく、生存者も苦しんでいました。ある男性は自分だけ生き残ったことに罪悪感を感じ、その感情に対処出来ずにいました。彼は我々の研修に参加するまで、どこにも助けを求めることが出来なかったと話していました。

これらの支援活動については、救援活動の国際コーディネーターを務めたボブ・クライン元国際理事が詳細にまとめ、予期せぬ事態への対処に関するリポートとして国際協会に提出しています」

――そうした経験の前後で、ご自身にどのような変化がありましたか。

「9・11は、私の人生を永遠に変えてしまいました。

ライオンとしては、国際協会が世界中で起こる惨劇や大災害により良く対応出来るよう努力したいという意欲が強くなりました。私が即座に四川大地

インタビューは北海道・札幌で330〜333複合地区公式訪問が
行われた9月9日、多忙なスケジュールの合間に行われた

震の被災地を訪問したいと考えたのも、国際協会役員として、ライオンズが被災者支援に取り組む姿勢を世界の会員に示したいと思ったからです。

　個人的には、その惨劇が戦争やテロなど人為的に引き起こされたものだとしても、自分の感情を中立に保たなければならないということを学びました。国際的なライオンとして、偏った感情に左右されたくないからです」

――緊急時、ライオンズが力を発揮出来るのはどのような活動でしょうか。

「私たちに出来ることはたくさんありますが、緊急時の活動をもっと特定の分野に絞り込んでいく必要があります。

　アメリカ南部を襲ったハリケーン・カトリーナの被災後、学校の教育体制が長期間にわたり崩壊しました。我々はユニセフの提案を受けて、被災地で学校を再開するために『スクール・イン・ア・ボックス』を配布しました。

　最近ではスウェーデンのライオンズが、四川大地震被災地にライオンズ・マークのついた1300張のテントを届けました。彼らは緊急時用テントを保管し、国外で大災害が発生した際、政府の救援機で被災地に輸送する態勢を整えています。四川大地震がその最初のケースとなりました。ライオンズは合計5千張のテントを供給し、テント村を形成しています。理想的とは言えませんが、現場を見た限り、廃墟と化した住居より過ごしやすいはずです。

　アメリカ・カンザス州には、竜巻によって壊滅的な被害を受けた町があります。その町のライオンズクラブでは会員20人が活動していました。カンザスの地区ガバナーは緊急時のライオンズの役割をよく理解していました。被災地の近隣クラブに呼び掛けて24時間以内に現地へ駆け付け、家を失った被災者の避難所で支援に当たったのです。町は立派に再建され、ライオンズ会員は40人に増えました。こうした成功例は他にもたくさんあります」

――いざという時に迅速で的確な活動を行うため、私たちにはどのような備えが必要だとお考えですか。

「恐らく人が準備に費やした時間の9割は、幸いなことに、結果的には必要なかったものだと思います。しかしそれが必要な時のために、各複合地区、地区のアラート委員長にはライオンズの中にどのような人材がいるか把握しておいて頂きたいのです。どこかで災害が起きた時、必要なのは医師や看護婦かもしれないし、建築関係者あるいは料理人かもしれません。どのような人材がいるか分かっていれば、例えば日本のライオンズに医師を派遣してほしいと要請することも出来るでしょう。実際、日本には海外に医療奉仕団を派遣している地区もあります。国際理事会では特別委員会を設置し、世界のどこかで緊急事態が起こった時、ライオンズの人材を生かして専門家を現地へ派遣する方策を検討しています。私たちが準備すべきは、緊急時に必要な人材が誰で、どこにいて、いかにして緊急連絡が取れるか把握することです。

　9・11の救援活動で、私たちは消防士や警察官のためにシェルターを設けました。輸送用コンテナにドアと窓をつけ、いすやテーブル、コーヒー・ポットを置いて、長期にわたる任務に従事する彼らに休息の場を提供したのです。これは日本のライオンズにも参考になるでしょう。私たちは、現場に真っ先に駆け付けて最前線で活動する第一対応者ではありませんが、第二対応者として、後方支援を行うことも重要な役割です。

　私は近く、アメリカ海軍基地を訪れて輸送部隊の任務を視察することにしています。彼らはライオンズクラブと協力して地域奉仕に取り組むことを検討しているのです。スウェーデンのような事例が、アメリカだけでなく各国政府と協力して実現出来ればと考えています」

ALERTプログラム　中越／中越沖両地震の体験を通した333-A地区ライオンズの提言

ライオンズの特性を生かした支援とは

座談会

●出席者　加藤弘明（元地区ガバナー／新潟県・巻ライオンズクラブ）
木村一美（新潟県・柏崎米山ライオンズクラブ）
丸山隆（新潟県・長岡ライオンズクラブ）
●司会　坂井正（元地区ガバナー／ライオン誌日本語版編集長／新潟県・新発田菖城ライオンズクラブ）
2008年7月23日　新潟県長岡市・長岡グランドホテルにて

災害時の情報収集

坂井　ブランデル国際会長が力を入れるアラート・プログラムは、緊急事態を3段階に分けています。レベル1は単一クラブで対応可能なもの。レベル2は地区としての組織的対応が必要なもの。そしてレベル3は複合地区以上の取り組みが求められるもの。

ここ数年、新潟県は7・13水害、中越地震、中越沖地震と、大規模災害が続いています。そこで、レベル2や3の事態が起きた時、ライオンズとしてどのような対応をすべきか、体験を踏まえたご意見をお聞きしたいと思います。まず必要なことは情報収集だと思いますが、丸山さん、いかがですか。

丸山　実は私、当日は東京にいまして、本震は体験していないんです。すぐに家に電話をしましたが、固定も携帯もつながりませんでした。で、「青電話は災害時に優先される」というのをどこかで聞いた覚えがあって、青電話を探してかけたらつながりました。

坂井　第一種公衆電話は災害時の緊急優先通話や、固定や携帯が使用出来ない場合に備えているらしいですね。

丸山　その後、上越新幹線が脱線していたため、長野経由で帰ったんです

ライオン 加藤弘明

が、着いたのは翌日の夜で、電気という電気が消え、異様な世界でした。移動途中、長岡は火の海だという流言も聞きましたし、災害直後に正しい情報を入手するのは難しいと実感しました。

坂井 丸山さんは当時、クラブ幹事をなさっていましたね。ライオンズ間の情報はいかがでした。

丸山 1週間たっても、会員の被災状況を完全に把握することは出来ませんでした。この年、キャビネットは長岡だったんですが、そちらも大変だったと思いますよ。

坂井 中越地震の時は333・A地区はまだ分割前で、キャビネット事務局は毎年移動。その年はたまたま長岡だったんですね。小池誠毅ガバナーもご自宅が半壊状態でしたし、役員も事務局も被災。大変だったでしょうねえ。

丸山 しかも地震の3カ月前に7・13水害があって、これが小池ガバナーが国際大会から帰国されて1週間目ぐらい。それが何とか収束し、これからという矢先でしたから。

加藤 中越沖地震も、シカゴの国際大会から帰国して、やはり1週間目ぐらいでした。幸いなことに私たちの時はキャビネット（巻）も事務局（三条）も無事でしたが、小池ガバナーはご苦労なさったでしょう。

ただ、中越沖地震が起こった7月16日は祭日で、これが問題でした。この日、インドからのYE生が成田に到着することになっていたんです。しかし、新幹線は不通で、迎えに行くことが出来ない。しかも祭日ですから、複合地区も、成田に近い333・Cや333・Eのキャビネット事務局も休みです。

ライオン 木村一美

結局、あちこち連絡を取って、ようやく333・C地区の小西ガバナーの携帯電話につながり、333・C地区で引き受けてくださることになったんですが、緊急時の備えがいかに大切か、改めて痛感しました。

坂井 中越地震ではキャビネット自体が被災してしまったわけですが、中越沖地震では震源地と離れていたためキャビネットは無事で、支援態勢の確立は早かったですね。

加藤 地震の翌17日に緊急災害対策委員会を設置して、18日に第1回会議を開催しました。ただ、被災地域の方たちは交通手段がなく、会議に出席して頂けなかったので、電話で会員の被災状況について調査を依頼しました。

坂井 被害が大きかったのは木村さんがリジョン・チェアパーソンを務めておられた第5リジョンのうち第1ゾーンの5クラブでしたね。

木村 電話を頂いて、19日に5クラブの会長会を開いてもらい、各クラブでは20日から会員宅を訪問して安否確認を実施しました。丸山さんもおっしゃっていましたが、やはり最終的に被災状況を確認出来たのは発生後10日ぐらいたってからだったと思います。

ライオン 丸山隆

坂井 災害発生直後の情報収集は、やはり困難を極めるんですね。それと先程、丸山さんが「正しい情報の入手」ということを言われていましたが、この点はいかがですか。

丸山 7・13の水害は下流部の三条がクローズアップされましたが、上流部、つまり豪雨があった栃尾も土砂崩れなどの大きな被害が出ていたんです。主要道路のほとんどが通行止めで「陸の孤島」になってしまったんですが、報道されないために支援が来ない。

加藤 マスコミが報道する所は支援物資もボランティアも集まり、そうでない所と大きな格差が生じるという話はよく聞きますね。

丸山 中越地震の時で言えば、山古志村の人たちが避難していた長岡大手高校です。ここは支援物資が余っていました。その仕分けのためにボランティアが大勢割かれたり、余った支援物資を保管するために体育館を三つ使ったり。大変だったようです。

木村 それで学習したんでしょうね。柏崎では今回、支援物資に関しては丁重にお断りしていました。

ライオン 坂井正

新潟県中越沖地震の支援アクティビティとして、1200戸余りの仮設住宅に住む被災者に、柏崎産コシヒカリの新米10㌔を贈った

ライオンズならではの活動

坂井　物資の話が出ましたが、情報収集には被害状況、会員の安否などと共に、被災者を支援するためのものも、当然含まれますね。加藤ガバナーは実際に陣頭指揮を執られたわけですが、どのようなことに留意されましたか。

加藤　全国のライオンズから義援金を頂き、その使途を検討する中で、行政にそのまま渡すのではなく、被災地のクラブを通して活用してもらうことを第一に考えました。その一つが『ライオン』誌でも取材して頂いた新米200俵の寄贈ですが、これも被災地の皆さんから情報を頂き企画しました。

坂井　私も一緒に仮設住宅を回らせて頂きましたが、皆さん、本当に喜んでおられましたね。しかし、1200戸余りの仮設住宅を1軒ずつ訪問しながら配られるということで、準備その他、大変だったでしょうね。

加藤　ええ、地元で折衝に当たってくれた皆さん、特に木村さんにはご苦労をおかけしたと思います。

木村　正直、難儀しましたよ（笑）。ライオンズどころじゃないという状態でしたし……。役を引き受けている以上は全力を尽くさないと、とそれだけでした。ただ、普段から行政との接点もありますし、情報という点では地元の強みはありますね。今思うと、いい経験をさせてもらいました。

加藤　当日、柏崎市長が「ライオンズってすごいですね」と言うんです。「最初、全部の仮設住宅を回ると聞いた時、そんなこと出来るんだろうかと思っていました。それが、自分たちも被災されている中、これだけのメンバーの皆さんが駆け付けられ、一気に配送されるのを見て驚きました」と。

木村　あの日は第5リジョン第1ゾーンの5クラブを中心に第2ゾーンからの応援もあり、結局180人の会員が参加しました。トラックやバンなど、配送車もすべて自前ですからね。

坂井　そういう点では、ライオンズの人的資源や組織力というのは、大きな可能性を持っていますね。

木村　地震直後は、ライオンズだ、ロータリーだと言っても、全く機能しない。市会議員だってオロオロしてるだけで、何の役にも立たない。頼りになるのは自衛隊だけだ。そう思ったんですが、時間がたち、地域に密着したきめ細かい奉仕となると、やっぱりライオンズの力は大きいなと感じました。

坂井　そうした力を最大限に生かすにはどうしたらいいか。いちばんの課

新潟県中越地震の折、柏崎の3クラブは24日間にわたり避難所で昼食サービスを実施した

題はそこだと思うんですが。

加藤　災害発生直後の初動活動で言えば、先程、木村さんが頼りになるのは自衛隊だけ、とおっしゃっていましたが、確かにライオンズで出来ることは限られていると思います。中越沖地震の際、私もいち早く現地に入りたいと木村さんに打診したんですが、今は混乱しているので待ってくれと言われ、自重しました。

木村　最初の話に戻っちゃいますが、あの時は、交通を始め何も状況がつかめていなかった。そんな段階で土地勘のない人が現地に入っても、大したことは出来ないんじゃないでしょうか。

丸山　一刻も早くということで被災地に駆け付けるNGOやボランティアもいますが、道路が寸断され、ただでさえ混乱している交通状況を悪化させることもあります。また、行政も被災者の対応だけではなく、ボランティアの対応に追われたり、本末転倒の事態になることもあるようです。

ただ、そうは言っても、他のNGOやNPOに比べると、ライオンズの動きが鈍いのは否めませんね。

坂井　LCIFの交付金に緊急援助金がありますが、これは申請すればすぐに送金されてきます。用途は緊急の要請に応じた食料や衣料、医療品の提供に限定されますが、キャビネットがこれを持って現地に駆け付け、行政との連携を図ると同時に、会員の安否確認を行うようにしたらどうでしょう。

加藤　長期的な復興支援を行うにしても、一つの足掛かりになりますね。

災害支援活動の方向性

坂井　座談会開催に当たり、過去の本誌から中越地震と中越沖地震の記事を読み直してみたんです。その中で、中越地震の折に柏崎のライオンズが合同で実施された避難所での昼食サービスと、中越沖地震の際に全国の有志会員と被災地の柏崎、刈羽のライオンズが協働で行われたイベントが、ライオンズとしての支援活動の方向性を示しているのでは、と思ったんですが。

木村　中越地震の昼食サービスは柏崎日本海ライオンズクラブの音頭で、柏崎ライオンズクラブ、そして私ども柏崎米山ライオンズクラブも参加して地震発生の3日目から24日間、小千谷市の避難所で実施しました。毎朝、柏崎日本海ライオンズクラブの事務局前に集合し、車で現地入りしました。避難所にはテントを常設し、そこで昼食を作り、温かいうちに提供するという活動でした。

坂井　しかも、新潟産業大学の学生

や他の団体も参加して、奉仕の輪を広げた点がすばらしいと思います。

丸山さんは中越沖地震の協働事業で、調整役を務められましたね。

丸山 中越地震の時に、333・A地区のホームページに設けられた震災掲示板に「支援物資を持って現地入りしたいが、どこか受け入れをしてくれるクラブはないか」との書き込みがあったんです。で、早速手を挙げ、受け入れをしたのがきっかけで、その時、支援物資を持って来られた兵庫県や千葉県の会員の方と、その後もお付き合いさせて頂くようになりました。そして中越沖地震が起き、今回も何か出来ることはないかということで、被災地に近い私が調整役をお引き受けしました。

坂井 被災地のボランティア・センターやNPO、そこに詰めていた岩手大学の学生ボランティアなどが一緒になってイベントを作り上げたんですね。

丸山 イベントは2日間、刈羽村と柏崎市西山町で実施しまして、20人ものメンバーが全国から集まり活動され、長岡ライオンズクラブも手伝わせて頂きました。また活動資金をカンパしてくれたクラブや個人も大勢いらしたので、前例のないような大混成部隊だったと思います。更には自らも被災されている中、柏崎の3クラブと刈羽ライオンズクラブの皆さんも共にアクティビティに参加してくださり、頭が下がりました。

新潟県中越沖地震の被災地で全国の有志会員が地元柏崎、刈羽のライオンズと共に被災者を元気づけるイベントを開催した

坂井 先程の米200俵のアクティビティ、そして柏崎の合同事業、全国の有志メンバーによる協働企画と、ライオンズクラブでは、こうしたすばらしい活動が出来るわけです。が、それがなかなか一つにならない、あるいは次につながらないところがありますね。

加藤 情報収集も含めキャビネットが核となって、組織力を生かせる活動事例を作ってみてはどうでしょう。

木村 私も実際に活動をする中で、マニュアルとかガイドラインのようなものがあったら、と思いました。

坂井 例えば、災害支援本部はキャビネットに設置するとして、現地に拠点を構えて全国のメンバーやボランティアを受け入れる態勢が整えられるとすばらしいことになるでしょうねえ。全国のライオンズから寄せられた義援金も、これらの活動に使わせて頂けば、「ライオンズ・トゥ・ライオンズ」で、ダイレクトに善意を生かすことが出来ると思うんですが……。

加藤 災害はないにこしたことはありませんが、どこかで必ず起こるでしょう。その時に備えて、日本の各地区が、出来れば全日本レベルで、新潟県の経験を生かしてもらいたいですね。

災害に先手が打てるか！迎え撃つのか！

――ライオンズクラブに期待される率先力――

伊永勉（㈱東京建設コンサルタント環境防災研究所首席研究員）

写真提供／神戸市

きっかけは台湾地震

1999年9月の台湾大地震を機に、ライオンズクラブの335・A地区と災害救援においてかかわりを持つこととなった。95年の阪神・淡路大震災では、私は西宮ボランティアネットワークを設立、統括本部長として救援・復興に携わっていたのだが、ライオンズとの接点は、資金援助をお願いすることぐらいだった。

台湾地震のニュースが飛び込んで来た時、私は阪神大震災の経験を生かし、また当時支援して頂いたお返しをするために急遽現地に向かうことを決定。インターネットを通じて全国のボランティア団体や関係機関に支援を呼び掛けた。多くの応答の中には335・A地区からの「仮設トイレを50機提供したい」という申し出もあった。

台湾では同国のライオンズから、「神戸での救援活動の話を聞かせてほしい」という依頼。これを機に台湾ライオンズとの情報交換と協力体制を確立、民間レベルでの救援活動がスタートすることになる。仮設トイレ設置、日本の学生ボランティア派遣、ボランティア本部運営マニュア

ルの中国語版翻訳・作成などが行われ、過去にインドネシアやイラン地震で得た国際救援の官民連携の事例に、更に大きな教訓が加わった。後には台湾ライオンズの仲介で台湾嘉義市、神戸市、日本赤十字社と共に市民の防災講演会を開催したり、仮設住宅建設検討会議にも参加した。

翌年、神戸で国際震災シンポジウム、東京で内閣府主催の災害ボランティアフォーラムがそれぞれ開かれ、この時にゲストとしてお迎えした台湾ライオンズの方から、改めて335-A地区を紹介される機会を得たのである。以後、私は同地区の災害救援マニュアル作成に協力し、ライオンズからは当方の市民防災講演会や阪神大震災のメモリアルイベントをバックアップして頂くなどの交流がある。

ALERTプログラム

迎え撃つか、先手を打つか

近年、大雨洪水による山間部集落の孤立、都市部での中小河川氾濫や内水型の家屋浸水が相次ぐ。東南海・南海地震は今後30年間の発生確率が60%にもなり、断層のずれによる直下型地震も油断出来ない。また、テロや爆発といった人為的な災害から、無差別殺人事件まで、今の日本には「安心安全なまちづくり」を脅かす要因が多々ある。

阪神大震災を契機として災害への備えは飛躍的に向上している。先手を打つ対策として公共施設や橋梁の耐震化が進み、緊急地震速報の開始、NTTや携帯電話による安否確認ツールの開発、都市ガスの供給停止などの技術開発、国民保護計画の法制化、要援護者支援制度の普及、避難準備情報の発令といったシステム面での整備も進んできた。

一方、人々の意識はどうだろう。日本人に最も多く見られる現象として危惧されているのが「正常化の偏見」という行動パターンだ。警報が発令されても「自分だけは大丈夫」「生命まで失うことはないだろう」といった自己判断により、家を空けて避難することを面倒に思うのだ。地震のように予測出来ない災害の場合には、ただパニックになり、慌てて外に飛び出してケガをする例も少なくない。

市民による災害に先手を打つ方法とは、家具の固定や家屋の耐震化、水や食糧の備蓄など、自分と家族の安全対策を万全にする自助の強化である。

災害を迎え撃つには、人々の心構えが第一。近隣での協力体制を整えることが重要だ。それが自主防災の組織化であり、共助の基本となる。大規模災害では、自助と共助が生命を守る最大の要件となるのだ。

阪神大震災では6434人もの尊い生命を失ったが、16万人を超える人たちが生き埋めから救出された。その内98%が、自力や家族の助け、更には近所の協力で救われている。自衛隊はもちろん、消防や警察のレスキュー隊も駆けつけるまでには時間が掛かる。道路が寸断され、公共施設も職員も被害を受けて動けない時、力を発揮したのは近所の助け合い救助だったのである。

写真提供／神戸市

ところで今、全国の自治体が内閣府の通達を受けて取り組む問題に、災害時の要援護者支援対策がある。高齢者、障害者、傷病者、乳幼児、妊婦、外国人など、自力での避難や状況把握が難しい人々の、災害時における情報共有や避難誘導、安否確認をどのようにするか。市町村は対象者の事前登録を望んでいるが、個人情報保護が大きな壁となる。アンケート調査によると55%もの市町村が登録調査を実施出来ずにいる。

行政内部の管理体制も名簿共有化の障害となっている。住民基本台帳はもちろん、障害・介護に関する名簿は担当部署以外での閲覧が制限されるのだ。例えば、消防署が火災発生地域にいる要援護者を事前に把握することすら難しい。

このように急務でありながら公的機関が四苦八苦している問題を、民間レベルで解決する手段を模索した時、ライオンズクラブの存在がクローズアップされてくるのではないだろうか。

地域の眠れる共助のスキル

災害ボランティアの活動の幅は実に広い。避難所での炊き出し、水の運搬、浸水した家からの家具や畳の運び出し。バールやチェーンソー、リヤカー、ジャッキなど、救出や輸送に役立つ資機材や工具の貸し出し。遠方の避難所まで行き着けない人のための一時避難の場所の提供。義援金や救援活動への支援金寄付。地域の歴史に詳しい人、専門知識や技術を持っている人など、災害時に役立つスキルはたくさんある。幼稚園児が10円玉1枚を募金箱に入れるのも、寝たきりのお年寄りが昔の経験から知恵を与えてくれることも、すべてが災害ボランティア、共助活動と言えるだろう。

阪神大震災では、災害ボランティアが有効な救援活動の一つであることが立証された。ライオンズクラブでもその意識が今まで以上に高まっていることが感じられる。

福井、新潟や山陰地方での集中豪雨では被災地に数万枚を超えるタオルを送り、炊き出し部隊を派遣した。日本海重油災害では企業への協力要請に尽力、ボランティアの送迎バス運行や資機材の調達など、幅広い活動をされた。

335‐A地区では、市町と連携して市民のための防災学習会を援助し、自主防災会設立資金の寄付、平時における災害への啓発活動に力を入れる。福岡県では災害ボランティアネットワークの幹部として、県内さまざまな団体の取りまとめをしている。

近年、阪神大震災や日本海重油災害などを機に、NPO法改正とあいまって、災害時における活動を目的とした団体が増えてきた。宗教団体が専門の救援隊を設けたり、学生組織の誕生、労働組合や経済団体等も積極的に体制を整えるなど、組織化された集団も登場している。それらの代表的な位置にあるのがライオンズだと私は思うのである。

地域のリーダーづくり

災害ボランティアを活動場所別に分類してみよう。まず代表的なものが、避難所での活動など、被災地内での被災者への直接支援。しかし、すべてのボランティアがここに集中したのでは混乱を来し、かえって復旧を遅らせる原因にもなりかねない。

もう一つが、地域での広域活動。ガレキで通れない道路を開放し、側溝のゴミを取って雨水が溜まらないように

するなどだ。

更に、行政へのサポートも重要である。大規模災害では、行政の施設や職員も犠牲になる確率が高い。こうした時に行政の本来の業務が滞ることなく救援・復旧業務に専念出来るよう、雑用や単純な作業を住民とボランティアで処理するのである。

ところで、ライオンズ会員の皆さんはそれぞれの事業を通じて、災害時に地域に役立つスキルを持っているはずである。それを生かす方法を日常から認識しておくべきである。

例えば阪神大震災では、発生から2カ月近くが経過した3月初旬、ライオンズを通じて兵庫県北部にある某企業組合の保養所と送迎バスを提供頂いた。そこで、県外から来ていた避難所駐在ボランティアを1泊2日の温泉旅行に招待し、引き揚げの節目とすることが出来た。

全国各地では、行政との応援協定とは別に、来る災害に備えて、ライオンズ・メンバーからの個人的な申し出を数多く頂いている。避難所の遠い人や通勤途中の人のために事業所の駐車場を解放する、地元スーパーで食料品の優先提供を約束する、事業所に町内のための消火器を複数設置するなどである。

ライオンズクラブへの期待

335・A地区の災害救援マニュアルを作成している時、災害に強い地域づくりを構築する上で、ライオンズクラブはその中枢を担える組織だと思った。素早い行動力と決断力を持つと共にネットワークが整っているからだ。

地域に潜在するスキルの代表として、ライオンズは住民の自主防災力を高める活動をするのに、最適な団体だろう。

各地の風水害発生時にもライオンズ間の情報交換は素早く、的確な支援活動が展開されている。被災地となった場合も、時間の掛かる行政の対策準備の隙間を縫って、住民の直接支援の情報を全国に発信出来る。また、ヒト・モノ・カネのすべてを集める能力と場所がある。地元自治体や公的機関からの信用もある。これは大変大きな利点である。阪神大震災において私が西宮市のボランティア本部長に指名されたのは、ボーイスカウト日本連盟から現地救援隊長として派遣されたという肩書きがあったからだと、後日聞かされた。日頃、地域貢献の実績があるライオンズは、災害時に名乗り出さえすれば、官民共に信頼される位置での支援体制が築ける団体なのだ。個人の力には限界があるが、組織としての総合力は計り知れないパワーを発揮する。その潜在力が生かされることを期待している。

最後にメンバーの皆さんにお願いしたい。

各地域の災害要因と被害想定を理解されているだろうか。東海地震、東南海・南海地震、三陸沖地震等の海溝型地震や、琵琶湖西岸断層等の各地の活断層の発生確率と人的な被害規模、建物の建築年度による倒壊率などである。

また緊急地震速報、避難準備情報、土砂災害危険情報、災害伝言ダイヤル、要援護者支援対策、国民保護計画といった、新しい防災対策や用語を知っておられるだろうか。

災害時、各地域において率先して住民を助け、状況に対峙出来る団体としての基礎能力を向上されることを願っている。

■筆者プロフィール

伊永勉（これながつとむ）

1995年阪神・淡路大震災において西宮ボランティアネットワーク設立。96年日本災害救援ボランティアネットワーク理事長就任。インドネシア地震・台湾地震・日本海重油災害・イラン地震等で現地救援を指揮。98年ADI災害研究所を設立、我が国初のプロの災害救援コーディネーターとなる。総務省消防庁防災・危機管理e-カレッジ開発協力者会議委員、㈶全国市町村振興会市町村職員中央研修所専任講師等を務め、国内外の災害支援及び防災計画に携わる。

災害研究所：members.ld.infoseek.co.jp/t_korenaga/index.htm

pick up
ピックアップ

GMT―グローバル会員増強チーム

継続性とチーム力で会員増強の目標達成を

7月23、24日、国際本部のあるアメリカ・イリノイ州オークブルックで、グローバル会員増強チーム（GMT）会議が開催された。今年度スタートしたGMTは3年間の会員増強プログラム。国際会長の任命を受けたGMTリーダー41人で国際チームが結成され、各リーダーは担当する複合地区、地区と連携しながら、地区の目標達成をサポートしていく。

GMTが所属する国際理事会会員増強委員会の委員長を務める後藤隆一国際理事と、東日本担当の後藤忍、西日本担当の高田順一両リーダーに、GMTの概要と日本における会員増強について話を伺った。

【出席者】

後藤隆一（千葉県・柏ライオンズクラブ）
国際理事、国際理事会・会員増強委員会委員長。

後藤忍（北海道・函館グリーン・ライオンズクラブ）
GMTリーダー（東日本／330〜333複合地区担当）、07年度331-C地区ガバナー。

高田順一（富山昭和ライオンズクラブ）
GMTリーダー（西日本／334〜337複合地区担当）、03年度334-D地区ガバナー。06年度334複合地区ガバナー協議会議長。

聞き手・本誌編集部

GMTリーダーは目標達成のサポート役

——GMT会議に出席されて、どのような印象を持たれましたか。

後藤(忍)　ブランデル国際会長始め、第1、第2副会長も非常に熱心で、協会全体で会員増強に本気で取り組もうという強い意気込みを実感しました。

高田　アメリカのマイク・バトラー委員長、インドのA・P・シン副委員長の強力なリーダーシップと熱意を感じました。会議ではオセアル（OSEAL=東洋・東南アジア）のリーダー7人が行動を共にすることが多かったのですが、非常によいチームワークが出来たと思います。

後藤(忍)　我々の上司はGMT委員長、副委員長ですが、今年度は後藤理事が理事会担当委員会の委員長ですから、いろいろとご相談出来て非常に心強いです。

——GMTは従来の会員増強プログラムとどう違うのか、その特徴を教えてください。

後藤(忍)　まず継続性が大きな特徴で、3年間の長期プログラムです。

後藤(隆)　理事会の会員増強委員会では以前から長期会員増強プランを検討してきましたが、それとは別に国際会長による単年度の会員増強プログラムが動いていました。昨年度の理事会で慎重審議が重ねられ、ブランデル国際会長と第1・第2副会長の合意のもとに理事会の承認を経て、3年間のプログラムをスタートさせました。

高田　ブランデル会長は過去の失敗例やCSFⅡの成功に学び、さまざまな要素を取り込んで、最も強力なチームを作ったとおっしゃっています。国際理事会から国際チーム、複合地区、地区、クラブまでがつながり、トップダウン、ボトムアップの双方向の組織になっています。

後藤(隆)　これまでの単年度プログラムでは、国際チームと国際理事会とのコミュニケーションに不十分なところがありました。今回はそれぞれの担当地域の国際理事とGMTリーダーの協力関係をしっかり築いていきます。それによって理事会や担当委員会が状況を把握して対応出来るような流れを作っています。

高田　その他に、MERLの活用もGMTの特徴の一つです。複合地区、地区のMERLをうまく機能させて、会員増強を図っていきます。

後藤(忍)　我々GMTリーダーの役割は複合地区と準地区のMERL、地区ガバナーときめ細かいコミュニケーションを取り合い、会員増強の目標達成をサポートすることですね。

後藤(隆)　特にガバナーとの連携が重要になるでしょう。GMTの活動は3年間ですが、CSFⅡのように3年間で実りを得るというプログラムではなく、単年度ごとに結果を出していきますから。

後藤(忍)　各ガバナーは地区ガバナー・エレクト・セミナーで会員増、クラブ増の目標数値と増強計画を出していて、更に四半期ごとにレポートを提出することになっています。

高田　「プラン・ドゥ・チェック」ですね。計画を立て、実行し、評価するというサイクルを繰り返して、目標に向かっていく。そのお手伝いをするのが私たちリーダーです。

後藤(隆)　従来は、プラス1とか世界で2万人とか協会側で目標を掲げていましたが、GMTではガバナーが自ら立てた目標を達成していくことになります。

後藤(忍)　ガバナーにいかに本気になって前向きに取り組んで頂けるかに掛かっていると思います。そのためにガバナーに情報を提供し、適切なアドバイスをすることがGMTリーダーの重要な役割です。

他国で成功している女性と若手の会員増強

高田　GMT会議ではOSEALのリーダーたちとのグループ・ディスカッションで、各国の成功例を聞き、たいへん参考になりました。

後藤(忍)　韓国や台湾などは会員数が一度落ち込んだ後、さまざまな努力をして増加に転じています。

——どのような成功例がありましたか。

後藤(忍)　韓国では近年、50代の若い議長やガバナーが多く誕生し、危機感を持って増強に成功したそうです。

高田　台湾ではクラブ会長の人脈で

招請した新会員が、任期終了後に退会してしまうケースが多かったそうですが、その定着に重点を置いてリテンションに取り組み成功したというお話でした。両国とも成功しているのは、女性会員の増加ですね。

後藤(忍) 昨年度のデータでは、世界的な傾向として男性が減少して、女性が増加しています。女性会員の比率は世界平均21%に対し、日本は7%台。前向きにとらえれば、日本にはまだ開拓の余地があると言えます。

後藤(隆) OSEALの中ではシンガポールやマレーシア、タイは3割ぐらい、韓国、台湾でも12~15%ぐらいです。世界を見ると女性ガバナーは大勢いますからね。

後藤(忍) 韓国は儒教の国ですから女性は少ないだろうと思っていましたが、日本の倍なので驚きました。聞いたところでは、尽力されたリーダーがいらっしゃったそうです。

後藤忍GMTリーダー

高田 日本の34地区のデータを比較してみると、地区によってだいぶ開きがあります。歴代ガバナーの取り組み方の差だと感じますね。

後藤(忍) 台湾や韓国は若い起業家が育っていて、そうした人たちの入会もあって若手が増えているそうです。日本は起業家があまり多くないし、二代目もなかなか入会してくれません。

――女性と若手の増強の重要性は以前から言われていますが、日本でうまくいかない原因は何でしょう。

後藤(隆) 女性にしても若手にしても、ライオンズに魅力を感じてもらえていないからでしょう。時代に即した洗練されたクラブ運営や、真に魅力的な奉仕活動が見えてこない面があります。メンバーになれば、自分たちなりに納得出来る運営や奉仕活動が出来るんだと知ってもらうことが必要です。

後藤(忍) ライオンズは地域の成功者の集まりというイメージは、いまだに強いですからね。

後藤(隆) 日本では家族会員制度による配偶者の入会で大幅な会員増を図ろうという動きが一部にありますが、考え方が幾分短絡的だと思います。平均年齢が高い現状で、もし会員の配偶者だけが増えたとしても、先行きが見えないままです。ただ数を増やそうというのでは将来の展望は開けません。

高田順一GMTリーダー

高田 制度の本来の目的は、奉仕する機会を家族と共有しようということですからね。

後藤(忍) 家族会員は二代目の入会にも活用することが出来ると思います。

後藤(隆) 男女ミックスで、幅広い年齢層が混じり合って活性化されているクラブは良い手本になりますが、それが難しい場合もあるでしょう。そうなると、女性だけのクラブ、若い人たちが中心のクラブを新しく増やしていくことも大切です。女性だけのクラブには、女性の感性を生かした奉仕活動が出来る喜びがあるでしょう。実際、私など考えつかないようなアクティビティを、効率的な手法で成功させている。しかも、女性の退会率が圧倒的に低いことがデータで明らかになっています。

後藤(忍) 女性会員の比率が高い地区では、女性クラブの結成によるところが大きいですね。

後藤(隆) 若手会員の場合も同様ですが、これは個々のクラブなりの考え方があるでしょう。若手の入会で平均年齢を下げて活性化を図っているクラブもありますが、そうはいかないクラブがたくさんある。昨年度は31クラブの解散がありました。危機感を抱いているクラブは多いはずです。平均年齢が70歳を超えて会員数一桁となると、極端な話ですが若い人たち中心で新クラブを作ってその支部になる、というのも一つの方法です。

高田 既存クラブに若い人が入りにくいようであれば、若者だけで支部を作るという方法もあります。

後藤(忍) 国際協会ではいろいろなプログラムを用意していて、クラブ支部の他にも学内ライオンズクラブや、共通の要素を持つグループでクラブを結成するというのもあります。同窓会のクラブとかね。

後藤(隆) やはりエクステンションが重要になってきます。

多様性を生むエクステンション

後藤（忍）　エクステンションを考える時には、会費の問題が出てきます。以前ハワイの会員に聞いたところ、年会費3万円ぐらいということでした。ただ日本の場合、複合地区会費や地区費などがありますから、最低でも5万円は必要でしょうか。

後藤（隆）　エクステンションを推進したインパクト・プログラムで、2002年度には日本で67クラブが結成されて、そのうち7割ぐらいが月5千円、年会費6万円でした。それぞれ独自のカラーを持ったクラブが多かったように思います。

高田　いろいろなタイプのクラブがあれば、入会する人にとって選択肢が広がることになります。車に高級車からファミリーカー、軽自動車があるように、自分のライフ・スタイルや感覚に合ったクラブを選べるのはいいことではないでしょうか。

後藤（忍）　その通りですね。ただ、高級車嗜好と言うか、ライオンズクラブは高級車の集まりだという方もいらっしゃいます。軽自動車も高級車も同じ車、同じライオンズだとは考えられないようです。

高田　これまで自分たちがそうだったから、ということでしょう。

後藤（忍）　他の国々では、そうした問題をクリアして伸びていますよ。GMT会議で話題になったのですが、韓国でも台湾でも、ステータス重視からクラブの多様性を重視する方向へと意識の転換があった。そこに至るまで議論を重ねたそうです。

高田　国際協会はいろいろなタイプのクラブが結成出来るような制度を作っていますから、国際的にはそれがスタンダードになっているんですね。

後藤隆一国際理事

後藤（隆）　多様性は認めていかなければなりません。もちろん、ステータスを守って高級車だけのクラブがあっていいし、自転車があってもいいわけです。ただ、あまり声高にステータスばかりを唱えると、本当にステータスのある人には敬遠されるかもしれません。それに、誠意を持って奉仕活動に取り組もうという人たちが離れていくことになりかねない。これは怖いことです。

後藤（忍）　原点は奉仕ですからね。

後藤（隆）　世界各地でライオンズの会合を見てきて「いいなあ」と思うのは、老いも若きも、男性も女性も相集って、それぞれが自分に出来る奉仕をして、それに誇りを持っているという雰囲気です。そのためにも、力を入れるべきはエクステンションでしょう。地区によっては4年以上も新結成クラブがゼロというところがあります。おそらく地区の中枢が方向性を見誤っているのだと思います。ゾーンで取り組むとか、女性や若手にターゲットを絞るとか工夫してやる気になれば、間違いなく可能なはずです。お二人のリーダーには各地区のデータをよく把握して助言してほしいと思います。

日本に寄せられる大きな期待

——リーダーのお二人は今後どのような活動を予定されていますか。

後藤（忍）　まずは各複合地区のガバナー協議会などに出席してガバナーや複合地区のMERL担当者とお話しすることから始めたいと思います。

高田　今年度で成果を出していくには、各ガバナーには遅くとも10月には本格的な取り組みを始動して頂きたいですね。

後藤（隆）　世界的な傾向として会員数はプラスに転じつつあって、大幅な減少を続けてきた日本とアメリカでもマイナスの割合が減り改善傾向にある。これから日本がどう推移するのか注目されています。日本への期待は非常に大きいです。

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズスクール・シリーズ

●初級編・ライオンズクラブ入門

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

●中級編・クラブ運営の基礎知識

クラブ運営の基本を分かりやすく解説。知識を確認したり、セミナーや研修会などでグループ・ディスカッションに利用出来るワークシート付。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

●上級編・リーダーシップを養う

国際協会の総合的リーダシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。
A4判 64ページ 1部400円・送料実費

※ライオンズスクール・シリーズはいずれも50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引＝100～499部350円／500部以上300円

●ウィ・サーブ
日本ライオンズ半世紀の航跡

B6判 332ページ
1部800円・送料実費

●ライオニズムよ永遠に
メルビン・ジョーンズとその時代

B6判 224ページ
1部800円・送料実費

●『ライオン』誌創刊号 復刻版

B5判 68ページ
1部300円・送料実費

※『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』は20部以上、『ライオン』誌創刊号復刻版は50部以上ご注文の場合、送料無料（ただし、急ぎの場合は実費請求）。
●大口注文割引率＝50～299部10%／300～499部15%／500～999部20%（1,000部以上は別途割引率設定あり）

※お申し込みは下記注文書をお使いの上、郵送またはファクスでお願いします。地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号をお忘れなく。
※ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。下記のライオンズ文庫注文フォームからどうぞ。
https://www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=2
※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所（FAX：03-3546-2630）

キリトリ線

ライオン誌日本語版出版物　注文書

●ライオンズクラブ入門 …………□部
●クラブ運営の基礎知識 …………□部
●リーダーシップを養う …………□部
●ウィ・サーブ …………□部
●ライオニズムよ永遠に …………□部
●『ライオン』誌創刊号復刻版 …………□部

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -		お電話番号

国際協会ブランド・リニューアル・プロジェクト

We are Lions
私たちはライオンズ

ライオンズクラブ国際協会（LCI）は新たに「ブランド・リニューアル」計画に着手しました。重要なのは、最終的にライオンズが何をするかということです。このブランド・リニューアルによって、私たちが何を、どのように、なぜ活動しているかを、具体的に語ることが出来るようになり、その結果、世間の人たちは、私たちの咆吼に熱心に耳を傾けてくれるようになるでしょう。

私たちは全力を尽くします

ライオンズの勢いは止められません。今回のブランド・リニューアル・プロジェクトは、新しい現代的な方法で、世界にライオンズを紹介する一方、私たちの伝統をたたえる機会を与えてくれます。そして私たちは、発展と衝撃の第2世紀を迎えることになるのです。

プエルトリコのライオンズは医療船を手配し、ドミニカ共和国で簡易病院を開設、1万人に治療を施しました。エチオピアではカーター・センターと協力し、トラコーマ撲滅の一翼を担いました。また南アフリカ・ケープタウンではスーパーマーケットと提携し、毎日6万人に食事を提供しました。

世界202カ国に4万5千クラブ、130万人のライオンがそれぞれの地域で活動し、多くの人々の生活に影響を与えています。そのため、ライオンズの名は世界中の国で知られています。が、私たちの業績については、ほとんど知られていません。なぜでしょう。その理由の一つは、ライオンズが広報活動や広告にほとんどお金を掛けないからです。実際、他の奉仕団体はライオンズの25~80倍もの費用をメディアに費やしています。

ライオンズのリーダーたちは、今回のブランド・リニューアル活動で、この傾向を覆そうと考えています。非営利部門の専門家であるコンサルタントの助言を得て、国際協会は現在、ライオンズが何者であり、どのような活動をしているかを人々に理解してもらえるように取り組みを始めています。

「私たちは90年間、活動を続けてきました。そしてその行動だけで、ライオンズのことを分かってもらおうとして

きました」

　ピーター・リンチ国際本部長は言います。

「このノンストップ・コミュニケーションの時代の中、ライオンズはもっと語らなければなりません。市民に直接語り掛ける必要があります。私たちがどのような団体なのかを明確にするのは、私たち次第なのです」

鏡の中の自分を見つめる

　しかし、私たちがライオンズについて世界に発信する前に、自己査定が必要でした。私たちが真実味を持って、この大規模かつ勇敢で多少不器用な130万人の会員を擁する組織のことを語っているか知る必要がありました。

　ブランド・リニューアル・プロジェクトの第一歩として、聴き取り調査をした結果、いくつか重要な情報を得ることが出来ました。国によっては、さまざまな違いがありましたが、主な調査結果は以下の通りです。

●私たちの最良の特徴は同時に、最も改善の必要があるところです。ライオンズは、謙虚な文化を持っており、私たちは自分たちの活動を自慢することよりも、慈善活動をすることに関心を持っています。私たちは「語る」ことではなく、「行動」を重要視します。

●私たちは仲間を重視します。他人の役に立ちながら、その行動に伴う仲間意識を楽しむことが、私たちにとって重要です。会員が集まると能力は増幅し、そしてその結び付き及び忠誠心は、クラブの中心となる考え方です。

●アメリカでは、人々はライオンズについて否定的な考えを持っていません。彼らにはライオンズの最新情報が不足しているだけです。なぜなら、ライオンズは、自らがどのような活動をして、なぜその活動が重要かを語ることに、重点的に取り組んでい

ライオンだから出来ること

新しい井戸がもたらした、奇麗な水と明日への希望

「少し前まで、子どものお腹の中には寄生虫がいました」。こう話すのは、西アフリカ・マリ共和国の小さな村モロディィオンドゥグーに住むニアジェラ・ディアラさん。「腹痛が原因で死んでしまう子どもたちだっていたんですよ」。

　清潔な水の欠如は命にかかわる。不衛生な水による病気で死亡する子どもは、年間およそ300万人と言われ、マリでは５人に１人が５歳の誕生日を迎えることが出来ない。

　最近、マリのライオンズクラブはLCIFの援助を受け、フランスのメンバーと共に国内各地に井戸を建設した。井戸が出来たおかげで、モロディオンドゥグーを始め120以上の村に清潔な水が行き届くこととなった。そして、水が変わった効果はすぐに現れた。

　衛生的な水のおかげでコレラや下痢で死亡する子どもがいなくなっただけではなく、豊かな水が経済を復活させるきっかけにもなった。

「もし村に来る機会があれば、きっと１年中、果物が売られている光景を見ることが出来ると思います。バナナがない時期にも、パパイヤがありますから」と話すのはライオンママ・タポ。「井戸のおかげで私たちの生活は劇的に変わりました。この変化を非常に誇りに思っています」。

　ライオンズにとって、このような出来事は珍しくない。地域の人々が一緒に何かに取り組めば、個人で行う行動よりはるかに大きな成果を挙げることが可能となるのである。

ないからです。

●ライオンズは、それぞれの地域に尽力しているため、私たちのすべての力を一つの特定の問題や要因に注いではいません。「市場」における私たちのアイデンティティーについての情報を携えた今、私たちは世界にどのように見られているかを管理出来る立場にいます。

アル・ブランデル国際会長は「ブランドを再編するわけではないことをまず理解してください」と話しています。「ライオンズは、今まで常にそうであったように、これからもそれぞれの地域で必要に応じた奉仕活動を行う、自立したクラブであり続けます。これはブランドの活性化なのです」

軌跡と前途

ライオンズには今、いい風が吹いており、活性化に絶好の時期です。ライオンである、ジミー・カーター元アメリカ大統領は、ノーベル平和賞にライオンズを推薦しました。最近、アメリカの大富豪ケネス・ベーリング氏の財団から750万ドルの献金が視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）に寄せられました。CSFⅡは最低目標額を1億5千万ドルに設定していましたが、最終的な献金額は2億ドル以上となり、非常に大きな成功を収めました。

また、私たちの心の中では既に最高の組織であったライオンズは、2007年7月、『フィナンシャル・タイムズ』によって国際NGOのトップに格付けされたことにより、顕著で公正な評価を得ることが出来ました。34団体の中で、ライオンズが際立っていたのはなぜでしょうか？ それは、私たちがプログラムを実行する方法や、実証された説明責任、私たちの地域への順応性や、そしてその他数多くの理由があったからです。新しい魅力的なブランドに生まれ変わることで、より多くの活動が出来、より多くの人々に手を差し

ロゴの一新

この100年近い歳月の中で、ライオンズのロゴは変化し、発展してきました。しかし、それはいつも同じ思想「ウィ・サーブ」の上に立っていました。

1916年
コンパスと定規が描かれた、このロゴは、草創期のライオンズとフリーメイソンとの関係を明示している。

1918年
この初期のロゴでは、視覚的なだじゃれ「ライオン（Lion）と棍棒（Club）」に注目してもらいたい。

1920年
この「L」の頭文字と背中合わせのライオンを組み合わせた図案は、現在のロゴの基礎となっている。

これまで使用していたロゴ

新しいロゴ
全体のバランスや文字のデザインを一新し、見やすく簡素化されたことに注目して頂きたい。新しいロゴは、広く親しまれ、愛されている紋章はそのまま保持した上で、印刷や電子データ、用品への利用にも適したものになっている。

世界各地での聴き取り調査

今回のブランド・リニューアルに際して、協会では世界中のライオンズから聴き取りを行いました。インドのムンバイからイギリスのボーンマス、マレーシア・ペナンからプエルトリコと、可能な限り多くの人たちから意見を吸い上げたのです。

伸べ、より多くの会員が入会するようになり、更に家庭や世界で広範囲な影響を及ぼすことになるでしょう。

私に何が出来ますか?

ではここで、あなたのクラブを振り返り、自問自答してみてください。

「私のクラブはこの1カ月、何をしてきただろう?」

アクティビティに誰か招待しましたか? 例会に、誰か招待しましたか? あなたは、ライオンズクラブに関心を持っている人にクラブの説明をしたり、勧誘したりしましたか? 質問に答えられますか?

新会員を温かく迎えましたか? 行事などで地域の人々と交流していますか? また会員は、自分から進んで自己紹介しましたか?

地元のリーダーたちと、地域への責務について話し合いましたか? 地元の意志決定者や住民たちに手を差し出しましたか? 地元新聞に貢献しましたか?

地域や世界で、あなたのクラブが取り組めるような問題を特定しましたか? あなたの地域で最も緊急を要するニーズに意識を向けさせるような人はいますか? 地域で何かイベントのようなものがあれば、いつでも連絡が受けられるような態勢になっていますか?

私たちが期待しているような影響に焦点を当てて活動していますか? あなたは、地域の諸問題に積極的に耳を傾けた後、それに応えていますか? 私たちが最善を尽くして出来る奉仕活動にはどのようなものがありますか?

自分たちのクラブが、地域にとっての財産である、と誰かに聞いたことはありますか? 口コミを活用して、メッセージを伝えることが出来ますか? 会員以外の人が簡単にライオンを見つけたり、連絡を取ったり出来るようになっていますか?

ブランド・ブック

新しいブランド・ブックのイメージは、ライオンズとは「活発で開放的、寛容な心を持ち、世の中を動かし揺るがす人々」であることを表しています。また、ブランド・ブックはライオンズが、我々の成果について首尾一貫した方法で語る際の「最適なポイント」を学ぶ手助けとなるでしょう。

ライオンだから出来ること

クラブ発足直後から活動出来る、ライオンズの「組織力」

インディアナ州メドラ・ライオンズクラブは「第一応答者」という資格に新たに「速さ」という価値を付加した。2008年6月7日の夜にチャーターを受けた新クラブだが、翌8日にはメンバー27人で洪水被災者センターに駆けつけ、1日100人以上の被災者に食料を提供した。

北インディアナ州を襲った大雨はダムや堤防を破壊し、大量の雨水が州南部へと流れ込んだ。メドラにあるホワイトリバーの支流イーストフォーク川は川幅が2.5マイルにも広がった。ゲイリー・ローソン地区ガバナーはこの大雨の様子を次のように話している。

「洪水によって枕木や橋が流され、誰もどこにも行けなくなりました。これは1913年に発生した大洪水以来の惨事です」

その時のメドラ・ライオンズクラブの対応は迅速で、動きは圧巻であった。被災者の食料や避難所を確保するとすぐに、3万1千ドルの資金を集めた。このお金は州内八つの街に分配され、援助が必要な家族の元に届けられた。

クラブの結成に尽力したライオンシーモアはこう話す。

「メドラのライオンたちはまず荒廃した家の清掃に着手し、がれきを一掃しました。6月には衣類、7月には家財道具を提供するため、被災地を駆け回りました」

こうした迅速な復興活動は、9月まで継続して行われた。メドラ・ライオンズクラブは1カ月でメンバーが倍増し、現在39人が所属する。「皆ボランティア活動にとても積極的です」とはライオンキム・ホッジス。

世界に4万5千以上あるクラブ同様、メドラ・ライオンズクラブも地域社会の向上のため、地域のニーズに対応した活動を行っている。メドラを始め世界各地で、ライオンズは「組織力」を発揮している。

広い心を持って行動していますか？私たちの最も重要な特性は、寛大さ、そして奉仕をしたいという願望です。

もう一つ忘れてはならないことがあります。国際本部や各国語版『ライオン』誌の編集部に写真を送ってください。あなたの地域でライオンズの活動を宣伝するには、うってつけの方法です。『ライオン』誌や他の印刷物を利用すれば、あなたのプロジェクト及びその活動から恩恵を受ける人々の写真を有効に活用することが出来ます。

さて、今回のブランド・リニューアルによって、ライオンズは何が期待出来るでしょうか？

ロゴ：最新のロゴは、ライオンズが常に、物事をビジネスとしてとらえたり、損得に基づいた行動をしていないことを世界に伝えるでしょう。

雑誌：現在、『ライオン』誌では、新しくなったライオンズ・ブランドを紹介しながら、更に今まで以上に実用的にすべく改訂しています。

ウェブサイト：現在、月に50万人のユーザーが利用するウェブサイトは、会員が必要な情報に簡単にアクセス出来るよう作り変えています。新しいサイトは、会員以外の人にとっても使い勝手がよくなるでしょう。

ブランド・ブック：ブランド・ブックによって、ライオンズは私たちの「論点」を直接会得し、継続的に私たちの業績について情報を流すことが出来るようになります。

広告キャンペーン：北アメリカで広告キャンペーンを実施し、続いて中南米、ヨーロッパ、南アジア、東アジアで市場調査会社と契約します。

「ライオンズにとって、面白いことがたくさん起こっています」

ブランデル会長は言います。

国際協会は未来を見据え、精力的で更なる魅力を持った近代的なライオンズのブランド・イメージを構築します。

一緒にがんばっていきましょう。

■国際理事
栢森新治
（愛知県・名古屋ウエスト）

会則は守るだけでなく、組織発展のために作るもの

健康上の理由で重松良次国際理事が退任されることになり、バンコク国際大会直前に開かれた２００７年度の第4回国際理事会で私の理事就任が決定、後任として奉仕させて頂くことになりました。08年度は大会委員会に所属し副委員長と、LCIF執行委員会で会計を仰せつかりました。これから1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、バンコク大会では、「第1副地区ガバナー及び第2副地区ガバナーの各職を設置する」という国際会則及び付則の案が、代議員投票により可決されました。この他にも上程された議案はすべて可決されましたが、我々が最も影響を受けるのはこの議案です。

毎年国際大会では、各クラブから選ばれた代議員により、いくつかの重要議案に対する投票が行われます。それらは国際理事会で十分な審議を経て上程されますので、大会で否決されることはほとんどありません。私の記憶にある中では、否決されたのは02年の大会で審議された国際会費の値上げだけです。

正直なところ、私はその時は驚きました。代議員投票は形式的に行われているとばかり思っておりましたので、一種のカルチャー・ショックでした。「大会代議員の意思は生きているのだ」と、その時、実感しました。ちなみにこの会費値上げについては皆さんご存じの通り、03年に再度投票に掛けられ可決致しました。

さて、このような会則改正などの議案はどこから提出されるのだろうと思い、今回の「第2副地区ガバナー設置」の提出元を聞いてみました。回答は、ドイツからとのことでした。

ここで世界の現状を見てみますと、リジョン・チェアパーソン（１９９５年の国際会則改正で設置が任意となった）を置いているのは日本と韓国だけ。これを置いていない他の国々は、地区ガバナー、副地区ガバナーの下にゾーン・チェアパーソンを設置するという組織となっています。

今回の改正案に対し、日本と韓国では「第2副地区ガバナー設置は必要がない」との意見が多く、経費も掛かることなので、大多数の代議員が反対しました。

しかしそれ以外の国では、既に独自に同職を設置しており、今回の改正を、実情に合わせた会則の追認という感じで受け取っている国もあるようです。

私が国際理事会の委員会に出席して感じたことは、理事たちはこのような議案が出た時、自分の国に必要があるかどうかということより、それが可決された時に自分の国にどのように影響を及ぼすのかを考えて、判断しているように見受けられました。

日本では、国際会則は国際協会からの通達があり、それに従うだけであると思われているふしもありますが、私は会則とは、我々が願っている組織の団結・健全化と発展の根源にもなるものであり、時代と共に変化していくものだと考えております。

我々も日本ライオンズの発展、世界のライオンズの発展、そして全世界に向けての社会貢献に役立つことであれば、どんどん会則の変更を提案しても良いのではないかと思っています。

ブランデル国際会長が330～333複合地区を公式訪問

9月9日、北海道札幌市の札幌パークホテルでアルバート・F・ブランデル国際会長の330～333複合地区（東日本）公式訪問が行われた。ブランデル国際会長は出席した東日本の会員400人を前に、9・11同時多発テロ、四川大地震における支援活動や、世界各地でライオンズの奉仕が起こしている奇跡について語り、「国際協会で最も重要な人物は国際会長でも、地区ガバナーでもない。奇跡を実現しているエブリデー・ヒーロー、各クラブの会員の皆さんなのです」と述べた。

6日開催された北京パラリンピック開会式に出席した国際会長夫妻は、8日夕刻に札幌入りし、翌9日に鎌田聡北海道警察本部長、高橋はるみ北海道知事、上田文雄札幌市長を表敬訪問。その後行われた東日本の協議会議長、地区ガバナーとの懇談会ではグローバル会員増強チーム（GMT）が話題の中心となり、ブランデル会長は「数を増やすためでなく、クラブの活性化のために会員増強に取り組んでほしい」と話した。

公式訪問の後、歓迎晩餐会で参加者と交流を深めた国際会長夫妻は、10日昼過ぎに札幌を出発。11、12日に、バラク・オバマ、ジョン・マケイン両アメリカ大統領候補やアメリカ政府高官らが顔をそろえる地域奉仕の促進に関する会議に出席するため、ニューヨークへと向かった。なお、東日本に続いて開催が予定されていた334～337複合地区（西日本）公式訪問は、ブランデル国際会長のスケジュールの都合で延期された。

香港フォーラム組織委員会がPRのため来日

8月5日、東京・丸の内の日本ライオンズ連絡事務所で開催された第2回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議に、12月に香港で開催される第47回東洋・東南アジア・ライオンズ（OSEAL）フォーラムの関係者が出席、会場などの説明とPRを行った。出席したのはジュディ・シン・フォーラム委員長代行とロサーナ・イップ・フォーラム事務局長、ティナ・チェン香港観光局コンベンション&展示課長ら。シン委員長代行は、主会場のアジア・ワールド・エキスポが国際空港に近接し利便性が高いことなどをアピール。委員会としては日本から3千人の参加を期待していると述べて協力を呼び掛けた。香港フォーラム日程は12月4日～7日。詳細は香港政府観光局によるPR情報（38ページ）を参照。

8月承認の視力ファースト、ライオンズクエストへの交付金

8月に開催された視力ファースト諮問委員会で19件、総額475万2293ドルの視力ファースト交付金が承認された。インド、ネパール、パキスタン、スリランカ、マダガスカル、コスタリカ、アルゼンチン、ケニアの8カ国で、眼科医療施設の改良、白内障検査及び手術キャンペーンなどが実施される。

同じく8月のライオンズクエスト諮問委員会では5件19万9600ドルの四大交付金が承認された。このうち日本への拠出は2件で、334・D地区（富山・福井・石川）と335・C地区（滋賀・京都・奈良）のワークショップ開催に、それぞれ2万5千ドルが交付された。

グルジア市民への人道的救済に支援を

紛争が勃発したグルジアで、多くの市民が家屋の崩壊や強制退去などにより難民となった。LCIFは、多数のライオンズから支援の問い合わせが寄せられたのを受け「グルジア市民への人道的救済口座」を設置した。寄せられた献金は、グルジアのライオンズによる物資配給や建物の復旧に充てられる。同口座への献金には「Georgian Civilian Conflict Humanitarian Relief Fund」と明記を。

アメリカの慈善家がCSFⅡに最高額の献金

LCIFの発表によると、アメリカ・カリフォルニア州の慈善家ケネス・E・ベーリング氏が、CSFⅡに対して750万ドルという過去最高の献金を行った。同氏はアメリカ車いす財団や国際健康教育財団など数々の慈善活動への資金提供で知られる人物。献金の使途はインド、中国、メキシコにおける白内障プログラムの支援に指定されている。ベーリング氏は「私は2000年以来、158カ国の恵まれない人々が逆境を克服出来るよう支援してきました。彼らに出来る限りの資源を提供することに、私は強い情熱を感じています。LCIFとのパートナーシップは、世界中で予防可能な失明を根絶するために役立つでしょう。祖父母が初めて孫を目にする時の喜びを考えてみてください。しかもそれは、私たちの協力関係によって実現される奇跡のほんの一部に過ぎないのです」と語っている。

334・E地区がフィリピン医療奉仕団の参加者募集

第34回目を迎える334・E地区（長野／佐藤義雄ガバナー）の日本・フィリピン合同医療奉仕活動が、2009年2月7日～10日に開催される。この医療奉仕は地元301・D2地区と合同で実施しているLCIF交付金事業。例年、日本から会員やボランティア約150人、地元地区からは医師を含む120人が参加し、マニラ近郊の貧困地域で約1万人の診察を行い、LCIFから高い評価を受けている。この

医療奉仕団に、同地区では地区外からの参加者を募集し、特に内科、歯科、眼科医師（ライオンズ会員以外も可）の参加を歓迎している。日程、参加費用は以下の通りで、応募締め切りは10月31日（金）。問い合わせ、申し込みは同地区キャビネット事務局へ。

■第34回日本・フィリピン合同医療奉仕活動

【日程】2009年2月7日（土）～2月10日（火）の3泊4日　＊医療奉仕活動は8、9日の2日間

【参加費用】成田空港発着、中部国際空港発着の2コース、いずれも14万8千円

【連絡先】334－E地区キャビネット事務局（担当・大日方）TEL 026・276・2626　FAX 026・276・2728

ライオンズクラブのPRにDVDの活用を

国際協会では会員の教育や新会員勧誘に役立つ視聴覚資材を作成、頒布している。そのうち日本語版DVDは、ライオンズクラブ国際協会日本事務所で入手することが出来る。取り扱いDVDは左記の6種類で、日本語を含む各公式言語バージョンを1枚に収録。価格はいずれも12・95ドル（送料別）。注文はクラブ用品発注書に品番を記入してFAXで。数量に限りがあるので注文はお早めに。

●国際会長プログラム「エブリデー・ヒーロー」（品番：PR22DVD／上映時間11分）ブランデル国際会長のメッセージと共にプログラムを紹介。

●世界中で奉仕するライオンズを支援（品番：PR39DVD／9分）アメリカ・イリノイ州オークブルックにある国際本部の各部門やスタッフを紹介。

●バンコク国際大会ハイライト（品番：PR45DVD）6月にタイ・バンコクで開催された第91回国際大会の各種プログラムの模様を収録。華やかなパレードや開会式などのプログラムの模様を音楽に乗せて紹介する。＊日本語の説明、字幕はなし

●社会に奉仕するライオンズ（品番：PR41DVD／15分）中国での視力回復事業やインドでの災害援助、ボスニア・ヘルツェゴビナでの子どもたちのケア、ケニヤでの給水事業など、世界各地で奉仕するライオンズの姿を描く。

●レオクラブをスポンサー：奉仕精神を分かち合おう（品番：LEO42DVD／18分）奉仕活動に打ち込み、地域で重要な役割を担うレオたちの活躍。

●より良き明日を築くために（品番：PR36DVD／12分）世界各地で奉仕に携わる5人の会員が登場。ライオンズでの活動がいかに彼らの生きがいになっているかを紹介する。新会員勧誘に最適。

▼注文・問い合わせ先：ライオンズクラブ国際協会日本事務所（TEL：03・3493・2931　FAX：03・3494・2933）

『ライオン』誌版 ライオンズ検定 ●第8回

〈第1問〉ライオンズクラブが発祥した国は？
a 日本
b アメリカ
c イギリス

〈第2問〉次のうち、会員数が最も多い国は？
a 日本
b 韓国
c インド

〈第3問〉次のうち、最も早くクラブが結成された国は？
a 日本
b 韓国
c インド

〈第4問〉日本にライオンズクラブをエクステンションした国は？
a 香港
b マレーシア
c フィリピン

〈第5問〉日本がライオンズクラブをエクステンションした国は？
a モンゴル
b 中国（本土）
c ミクロネシア

〈第6問〉次のうち、まだ国際会長を輩出したことのない国は？
a 日本
b ドイツ
c イタリア

〈第7問〉次のうち、最も新しいライオンズ国は？
a ラオス
b サイパン
c カンボジア

〈第8問〉次のうち、ライオンズクラブが結成されていない国は？
a イラク
b ミャンマー
c スーダン

★正解7問以上でA級、4～6問でB級、3問以下はC級に認定します。

★正解は34ジに掲載。

会議録

第1回ライオン誌日本語版委員会（7月29日／ライオン誌日本語版事務所／出席者：後藤隆一、栢森新治、杉本忠夫各国際理事、谷野徹元国際理事、小田邦雄議長、古谷野環、近藤悦夫、松田毅、井村一男07年度各委員、渡邊豊隆、瀧澤嘉門、坂井正、小岱義正、大島康男、山根健、塩倉安伸08年度各委員）

①07年度ライオン誌日本語版委員会年次報告②07年度ライオン誌日本語版事務所決算報告③07年度同事務所監査実施報告④07年度ベストエッセー賞選考⑤08年度委員長、編集長互選⑥「ライオン誌日本語版委員会方針」の確認⑦08年度ライオン誌日本語版事務所予算（案）⑧8月号（11万3700部発行）出来⑨9月号記事内容の確認⑩10月号以降台割（案）と主要記事予定⑪ウェブサイト関連⑫オンライン報告システム⑬その他

第6回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会（8月4日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：廣瀬恒彦、桶谷賢知、杉山正夫、髙田一男、竹本實生、永井義夫、田崎登保各委員、林孝委員代理）

①07年度日本ライオンズ連絡事務所会計報告②会計監査立会いについて③08年度収支予算書試案

第1回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会（8月4日／日本ライオンズ連絡事務所／出席者：小田邦雄議長、古郡保郎、秋庭一冨、杉山正夫、髙田一男、林孝、竹本實生、加計邦夫、北島建則各委員）

①連絡事務所管理委員会規定②委員長の互選③管理委員会担当業務について④前年度からの申し送り事項の確認⑤議長連絡会議からの申し送り事項⑥会計顧問の辞任⑦各種規定および契約書の確認⑧職員の業務分担内容⑨報告事項⑩その他

第2回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議（8月5日／パレスビル3階会議室／出席者：大熊恭雄、阿部幸一、福永敬、矢口武克、八嶌隆、小田邦雄、百田勝彦各議長、松原信一議長代理、後藤隆一国際理事）

①第47回OSEALフォーラム（香港）組織委員会のあいさつとPR②ブランデル国際会長公式訪問③GMT（グローバル会員増強チーム）について④08年度国際アワード⑤国際理事候補者選挙管理委員会からの報告⑥国際第2副会長候補者選挙管理委員会からの報告⑦共通議案の検討⑧各連絡会議・委員会報告⑨その他

『ライオン』誌と地区誌の同梱発送

『ライオン』誌に地区誌を同封して発送する初めての試みが9月号から始まった。330‐B地区の要望を受けて実施したもの。同地区の地区誌『SMILE（スマイル）』は年6回発行で、隔月で『ライオン』誌と同梱発送されることになる。『ライオン』誌発送には、各会員あてに個別に送る方法とクラブあてに会員数分を一括して送る方法のいずれかをクラブが選択しており、地区誌もこれに準じて発送される。地区が負担する経費は、同梱による送料の超過分と一部手数料。経費削減と発送に伴う作業の合理化、また包装や輸送により発生する環境負荷が軽減されるという利点もある。333‐C地区からも要望が寄せられており、10月号で実施される予定。地区誌同梱に関する問い合わせは、ライオン誌日本語版事務所まで（TEL：03・3542・9571　FAX：03・3546・2630　Eメール：edit@thelion.jp）

新結成／合併クラブ

■新結成クラブ

千葉県・佐倉むらさき（吉田とく会長）▼6月14日結成▼スポンサー／佐倉

千葉県・船橋アートマン（小野吉信会長）▼6月16日結成▼スポンサー／船橋北

山梨アカデミー（川手寅平会長）▼7月3日結成▼スポンサー／南アルプス

■合併クラブ（合併前のクラブ名）

千葉県・市川（市川／下総中山）

国際大会開催予定

2009年：アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス／7月6日～10日

10年：オーストラリア・シドニー／6月28日～7月2日

11年：アメリカ・ワシントン州シアトル／7月4日～8日

12年：韓国・釜山／6月22日～26日

13年：ドイツ・ハンブルグ／7月5日～9日

ライオンズ検定●第8回の回答

第1問・b／第2問・c／第3問・a／第4問・c／第5問・a／第6問・b／第7問・a／第8問・b

2007-08年度ライオン誌日本語版事務所決算公告

貸借対照表（単位：円）　2008年6月30日現在

資産の部	293,808,556	負債の部	42,973,150
流動資産	(289,750,276)	流動負債	(24,876,897)
現金	18,333	未払金	23,271,437
普通預金	54,356,385	前受金	753,500
定期預金	220,000,000	預り金	851,960
郵便振替貯金	5,863,771		
未収入金	3,096,196		
貯蔵品	113,976		
頒布品	2,204,822		
前渡金	150,000	固定負債	(18,096,253)
前払費用	1,609,453	退職給付引当金	18,096,253
立替金	2,197,880		
仮払金	139,460		
		正味財産の部	250,835,406
固定資産	(4,058,280)	基金	130,000,000
有形固定資産	(577,436)	資料整備準備金	15,000,000
什器備品	577,436	事務改善等積立金	27,183,889
無形固定資産	(1,652,344)	為替差損準備金	44,039,956
電話加入権	239,200	未処分収支差額金	
コンピュータ		前期繰越収支差額金	43,866,790
ソフトウエア	1,413,144	当期収支差額金	△9,255,229
その他の固定資産	(1,828,500)		34,611,561
差入保証金	1,828,500		
合計	293,808,556	合計	293,808,556

収支計算書（単位：円）　自2007年7月1日 至2008年6月30日

収入の部			
科　目	予算額	決算額	差額
項目			
購読料収入	149,820,000	151,465,402	△1,645,402
国際会費還付金	81,120,000	82,270,152	△1,150,152
特別負担金	68,700,000	69,195,250	△495,250
広告料収入	15,000,000	14,324,940	675,060
その他収入	6,780,000	7,402,192	△622,192
頒布品収支差額	2,000,000	1,753,528	246,472
受取利息	500,000	682,333	△182,333
国際協会公式サイト 管理受託収入	2,000,000	2,603,400	△603,400
雑収入	2,280,000	2,362,931	△82,931
収入合計	171,600,000	173,192,534	△1,592,534
合計	171,600,000	173,192,534	△1,592,534

支出の部			
科目	予算額	決算額	差額
項目			
直接出版費	103,400,000	98,187,102	5,212,898
印刷費	65,400,000	63,150,256	2,249,744
発送事務費	18,300,000	17,907,349	392,651
旅費交通費	6,000,000	6,055,737	△55,737
取材費	600,000	213,214	386,786
原稿料･編集費	13,000,000	10,814,369	2,185,631
広告関係諸費	50,000	39,240	10,760
雑費	50,000	6,937	43,063
委員会費	6,740,000	5,721,685	1,018,315
旅費交通費	6,440,000	5,598,670	841,330
会議費	100,000	36,432	63,568
雑費	200,000	86,583	113,417
50周年関係費	13,500,000	13,315,954	184,046
記念誌	13,000,000	12,298,098	701,902
記念の会費用	500,000	1,017,856	△517,856
事務費	67,814,000	65,223,022	2,590,978
人件費	36,630,000	36,209,000	421,000
福利厚生費	5,140,000	5,117,838	22,162
旅費交通費	1,270,000	1,195,480	74,520
通信費	1,800,000	1,315,212	484,788
備品費	700,000	697,200	2,800
事務用品費	1,295,000	1,205,606	89,394
図書費	60,000	35,970	24,030
消耗品費	30,000	12,114	17,886
IT関連費	2,000,000	1,266,050	733,950
バックナンバーデジタル化費	2,250,000	2,602,782	△352,782
顧問料	851,000	850,500	500
支払手数料	120,000	85,579	34,421
保守･修繕費	292,000	278,833	13,167
借室料	9,216,000	9,215,640	360
水道光熱料	520,000	459,779	60,221
租税公課	1,000,000	615,547	384,453
減価償却費	1,000,000	688,911	311,089
退職給付費用	2,520,000	2,330,106	189,894
雑費	1,120,000	1,040,875	79,125
支出合計	191,454,000	182,447,763	9,006,237
当期収支差額金	△19,854,000	△9,255,229	△10,598,771
合計	171,600,000	173,192,534	△1,592,534

2007-08年度日本ライオンズ連絡事務所決算公告

貸借対照表（単位：円）　2008年6月30日現在

科　目	金額	科　目	金額
Ⅰ資産の部		Ⅱ負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
現金	16,907	預り金	115,370
銀行預金	93,956,565	未払消費税	328,500
頒布品	14,746	流動負債合計	443,870
立替金	37,012	2. 固定負債	0
未収入金	464,850	負債合計	443,870
前払金	225,594		
仮払金	0	Ⅲ正味財産の部	
流動資産合計	94,715,674	1.指定正味財産	
2.固定資産		基本金	50,000,000
(1)基本財産		2.一般正味財産	104,343,872
銀行預金	50,000,000	正味財産合計	154,343,872
基本財産合計	50,000,000	負債及び正味財産合計	154,787,742
(2)特定資産	0		
(3)その他の固定資産			
敷金	5,724,000		
保証金	50,000		
電気設備	1,540,000		
電気設備減価償却累計額	△496,650		
什器備品	4,556,200		
什器備品減価償却累計額	△1,469,374		
OA機器類	866,534		
OA機器類減価償却累計額	△698,642		
その他固定資産合計	10,072,068		
固定資産合計	60,072,068		
資産合計	154,787,742		

収支計算書（単位：円）　2007年7月1日～2008年6月30日

科目	予算額	決算額	差　異
Ⅰ事業活動収支の部			
1.事業活動収入			
会費収入	41,040,000	41,407,560	△367,560
受取利息収入	100,000	120,354	△20,354
基本財産利息収入	32,000	160,438	△128,438
雑収入	61,500	61,500	0
CSFII受け入れ収入	2,400,000	1,200,000	1,200,000
頒布品売り上げ収入	20,000,000	21,734,050	△1,734,050
事業活動収入計	63,633,500	64,683,902	△1,050,402
2.事業活動支出			
①事業費支出			
議長連絡会議費	1,300,000	1,327,459	△27,459
委員長連絡会議費	1,000,000	1,096,035	△96,035
頒布品製作費・送料	18,000,000	19,331,401	△1,331,401
②管理費支出			
管理委員会会議費旅費	3,000,000	3,407,639	△407,639
国際大会･アジアフォーラム関係費	1,600,000	1,459,667	140,333
人件費	17,000,000	16,147,125	852,875
福利厚生費	3,100,000	3,280,070	△180,070
印刷費	1,600,000	1,311,007	288,993
通信費	2,200,000	1,922,794	277,206
旅費交通費	1,000,000	815,094	184,906
借室料水道光熱費	9,500,000	9,358,950	141,050
リース・レンタル料	2,000,000	946,050	1,053,950
事務用品費	300,000	202,003	97,997
図書費	100,000	52,596	47,404
顧問料	882,000	882,000	0
支払手数料	200,000	127,630	72,370
雑費	200,000	93,080	106,920
租税公課	350,000	328,500	21,500
事業活動支出計	63,332,000	62,089,100	1,242,900
事業活動収支差額	301,500	2,594,802	△2,293,302
Ⅱ投資活動収支の部			
1.投資活動収入			
①投資活動収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2.投資活動支出			
②投資活動支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ予備費支出	0	0	0
当期収支差額	301,500	2,594,802	△2,293,302
前期繰越収支差額	91,677,002	91,677,002	0
次期繰越収支差額	91,978,502	94,271,804	△2,293,302

1. CSFII受け入れは2007年12月CSFII日本事務所転出により上半期で終了した。
2. 複合地区連絡会議規定第6条「連絡会議出席者の旅費および会議費は、全複合地区のプール計算とする。」2007-2008年度日本ライオンズ連絡事務所一般会計より連絡会議会場等の費用を支出している。議長連絡会議7回分624,048円、委員長連絡会議7回分668,565円の合計14回分会場費用1,292,613円。他にDGEオリエンテーション216,980円、ゾーン・リジョン・リーダーセミナー193,222円を支出。

2007-2008年度各種会議費旅費総額　13,414,020円
複合地区負担額　1,676,712円×8　13,413,696円
端数　雑費処理　324円　残高0円

LCIFの成果を祝う

アリシア・ディマール

LCIFファイル

偉大なる成果、視力ファーストⅡキャンペーン

タイ・バンコクで開催された第91回国際大会で、私たちはライオンズクラブ国際財団（LCIF）が成し遂げた一つの偉業をたたえ合った。世界中のライオンズの寛容で絶大なる協力の結果、視力ファーストⅡキャンペーン（CSFⅡ）で2億㌦以上の資金を集めることに成功したのである。この交付金によって、ライオンズは「人々の人生を変える」視力ファースト・プログラムを引き続き運営し、事業を拡大することが可能になった。

LCIFの視力ファースト・プログラムは世界各地域で、延べ2700万人以上の人々の視力を予防・治療してきた。このCSFⅡへの献金のおかげで事業は更に拡大し、3700万人以上の人々を失明の危機から救えるのである。これは世界各国のライオンズが達成した驚くべき偉業である。

視力ファースト・プログラムは、LCIFの活動の中で最も規模が大きくよく知られたものだが、他にも多くの人道支援プログラムが提供されている。障害者支援、災害援助、青少年育成プログラムなど、さまざまな形で40年以上にわたって人道的な奉仕活動が行われている。LCIFを通じて、ライオンズは地域社会から世界各国に至るまで、迅速かつ長期的な活動プログラムを展開しているのである。

LCIFはライオンズの誇り

ライオンズはLCIFに誇りを持っている。1968年以来、LCIFはおよそ9千件以上、総額6億2500万㌦もの資金を拠出してきたからだ。これまでの40年間、LCIFがこれほど大きな成果を達成することが出来たのは、ひとえに世界中のライオンズの協力のおかげである。また、2007年7月に世界で最高のNGOとして認められたのも、会員一人ひとりの努力のたまものである。人道支援に見られる質の高いサービス、それこそがライオンズが誇る奉仕にほかならない。

ライオンズの継続的なサポートのおかげで、LCIFは地域の人々から世界中の人々にまで援助の手を差し伸べることが出来る。LCIFへの献金はそのすべてが、人道支援を目的とした活動資金となる。LCIFを通じて、ライオンズは「ウィ・サーブ」を体現し続けるのだ。

ライオンズのパワー

世界各国130万人のメンバーで構成されるライオンズクラブは、非常に大きな機動力を持った組織である。世界中のほぼすべての地域――特に奉仕活動の最前線において、それぞれが活発に活動している。一方、LCIFの仕事は、ライオンズが地域で奉仕活動を行った結果、初めて結実する。ライオンズとLCIFは、共に世界の人道的奉仕活動に重要な役割を果たしているのである。

ライオンズが世界規模で与えてきた影響は、まさに努力の結集である。失明予防、衛生環境の向上による健康促進、青少年教育、災害地域の再建などを通じて、LCIFとライオンズクラブは世界の人々に希望と癒やしを提供してきた。

LCIFが更に成長するためには、ライオンズの継続的なサポートが不可欠だ。CSFⅡの活動で見せたたゆまぬ努力は、失明を予防する視力ファースト・プログラムの先導役となった。世界中の人々のニーズに応えるため、LCIFとライオンズはこれからも手を取り合って歩んでいく。

人々が集い、一つになって尽力した結果、どんな成果が挙がるかをライオンズは知っている。世界中の人々のために、LCIFとライオンズは共に奉仕し続けるのである。

第47回 2008年12月4日(木)～7日(日)開催
東洋東南アジアライオンズ・フォーラム(香港)
会場：アジアワールド・エキスポ

47th OSEAL Forum
December 4 - 7, 2008 Hong Kong
A New Dimension in Humanity

HONG KONG
LIVE IT. LOVE IT!
ハマル、ミリョク、香港。

新しい発想、新しい会場で。まだ知らない香港を、お楽しみください。

東洋と西洋が融合する国際都市・香港は世界最大級のコンベンションやエキシビション、トレードショーなどが開催されるイベント・キャピタルです。ライオンズクラブ・イベントとして2005年に第88回国際大会が開かれ、大成功理に幕を閉じたことは皆さまのご記憶に新しいと思います。あれから僅か3年、香港は第47回OSEALフォーラムのホストシティとなります。しかも、前回と異なった会場、セッティングによる全く新しい発想による企画で皆さまをお迎えします。今回はメイン会場を香港最大の島、ランタオ島に位置する「アジアワールド・エキスポ」に設定しました。香港国際空港に隣接して2005年末にオープンした香港最大の多目的屋内会場を有する最新のコンベンション施設です。中心部とはエアポート・エキスプレスで僅か25分と利便性は優れています。また、本部ホテルとなるリーガルエアポートホテルも空港に繋がっておりメイン会場とは1駅、わずか1分の至近距離です。このランタオ島は、「ゴンピン360」や香港ディズニーランドなど楽しさ一杯のアトラクションや観光施設が揃っており、充実した時間を過ごすことが出来ます。ぜひ、第47回OSEALフォーラムにご参加頂き、新しい香港をお楽しみ下さい。香港の詳しい情報は香港政府観光局のホームページをご覧下さい。

ご登録特典

□ 香港ディズニーランドの入園無料
（最新のディズニーランドをお楽しみください）
※"Fun at the Disneyland"実施時のみ

□ 香港歴史博物館、香港文化博物館の入館無料
その他、ショッピングやドリンクのディスカウントなど、「第47回東洋東南アジアライオンズ・フォーラム（香港）」にご登録いただいた方には、香港滞在中たくさんの特典をご用意しています。
※ご注意：特典内容は変更になる場合がございます。

香港ディズニーランド

香港国際空港と同じランタオ島にある、世界で５番目のディズニーランド。世界のディズニー・ドリームを受け継ぐ夢の王国でありながら、香港らしさを表しているのは、その設計。風水をとり入れ富を表す水とパワーを表す山に囲まれています。また、オリエンタルな雰囲気のレストランやユニークなグッズもそろう、オリジナリティあふれるテーマパークです。アジア初のアトラクションも魅力。

©Disney

香港ウインター・フェスタ

国際都市・香港ならではのさまざまな楽しさがギュッとつまった、冬のビッグ・イベント。ビクトリア・ハーバー両岸の高層ビル群をはじめ、ショッピング・モールやストリートがまばゆいイルミネーションで飾られます。それぞれの地域では競うようにサプライズ・パフォーマンスが繰り広げられ、街中がお祭り気分に。もちろん年末のバーゲン・セールや冬のグルメも見逃せません。この期間だけのプロモーションや特典もご用意。

第47回東洋東南アジアライオンズ・フォーラム（香港）スケジュール

12月3日（水）

8：00～14：00　ゴルフ・トーナメント

12月4日（木）

9：00～17：00　登録
14：20～15：00　記者会見
16：00～18：00　第２回ステアリング委員会会議
19：00～21：30　第47回フォーラム組織委員会主催 歓迎レセプション
22：00～23：00　コーカス・ミーティング

12月5日（金）

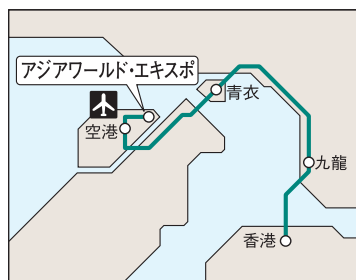
8：30～ 9：30　第１回協議会議長と地区ガバナーの会議
9：00～17：00　登録
10：00～11：00　国際会長と地区ガバナーの会議
9：00～17：00　フォーラム土産品
9：00～18：00　フォーラム展示・バザー
11：00～17：00　フード・プラザ
13：00～14：30　インターナショナル・ショー
15：00～16：30　開会式
17：00～20：00　香港ディズニーランドでの楽しいひとときを
19：00～21：00　香港レセプション

12月6日（土）

8：30～ 9：30　第２回協議会議長と地区ガバナーの会議
9：00～17：00　登録
9：00～13：00　テニス・トーナメント
9：00～17：00　フォーラム土産品
10：00～11：00　グローバル会員増強チーム（GMT）会議
10：00～12：00　レディス・プログラム
11：00～12：00　国際第一副会長と副地区ガバナーとの会議
11：15～12：00　決議委員会会議
14：30～16：00　ライオン・セミナー:基調講演者 ブランデル国際会長
14：30～16：00　レオ・セミナー
17：00～18：00　韓国レセプション
18：00～19：00　ジャパン・レセプション
18：30～19：30　タイ・レセプション（次回フォーラム開催地）
19：00～20：00　フィリピン・レセプション
20：00～22：00　国際会長晩餐会（登録料100米ドル）

12月7日（日）

8：30～ 9：30　第３回協議会議長と地区ガバナーの会議
9：00～13：00　フォーラム土産品
10：00～12：00　閉会式

※上記内容は今後の追加情報や訂正が入る場合があります。

**最新のテクノロジーを駆使し、
2005年にオープンした展示会・イベント施設です。
香港国際空港から１駅、
市内香港駅からはエアポートエクスプレスで25分という、
ロケーションの便利さも魅力。
国際的に注目を集めています。**

「第47回東洋東南アジアライオンズ・フォーラム（香港）」ホームページ www.oseal2008.org.hk
香港政府観光局オフィシャルサイト www.DiscoverHongKong.com/jpn/

エブリデー・ヒーロー

＊ライオンズクラブにまつわる「ちょっといい話」募集中。会員の皆さんだけでなく、会員家族、事務局員などライオンズにかかわる方の投稿を歓迎します。▼800～2千字程度の文章にまとめ「エブリデー・ヒーロー」係へお送りください。送付先は57ページをご覧ください。

イラスト／吉田悦子

"Lions are everyday heros."

「クラブとの縁に感謝」

町田中央ライオンズクラブの事務局をさせて頂き8年が過ぎました。下の娘が小学3年生の時に勤め始め、会員の皆様・ご夫人方にお世話になり親子でかわいがって頂いています。

娘が中学生の時、クラブのスマトラ沖地震街頭募金に参加させました。「中学生や高校生が財布の中からお金を出して募金箱に入れてくれた時はとてもうれしかった。大人の人が『がんばって』と声も掛けてくれてうれしかった」と言っていました。献血当番の声掛けもお手伝いしました。高校受験の推薦面接の時は、ボランティア活動への協力を報告したそうです。これも小さい頃からライオンズの奉仕する姿を見せて頂いたおかげだと思っています。YE生の受け入れの時は、ホームステイ先の会員宅でYE生と話をして国際交流に目覚めました。日本だけでなく、世界に開かれた目を育てて頂いたと思っています。

少人数のクラブではありますが、だからこそ会員一人ひとりの気高い心、純粋な心、奉仕の心がクラブを一つにし、ご家族の方々も協力してくださっていると思います。そういう町田中央ライオンズクラブと縁することが出来たことに、本当に感謝しています。

江田ユキ子／東京都・町田中央ライオンズクラブ事務局

「復興への願いを込めて」

新潟県刈羽村は、人口5千人弱の小さな原発の村です。こののどかな村を地震が襲いました。今でもあの日のことは忘れられません。

2007年7月16日、新潟県中越沖地震が発生。多くの家屋が倒壊し、村の景色が一瞬にして変わってしまいました。当クラブ会員の大半が被災し、住民一同が片付けに追われる毎日でした。こんな時こそ前向きにがんばらなければと行った、ライオンズによる新米配布アクティビティや無料アニメ映画鑑賞会などは、地域の方にたいへん喜ばれました。「おいしいお米を食べ、少しでも早く元気を取り戻し、笑顔を見せてほしい」。こんな願いを込めて配布しました。

当クラブが最も力を入れていることは、地域との交流です。被災後のアクティビティを通じて、ライオンズという名を地域に広めることが出来たのではないかと思います。

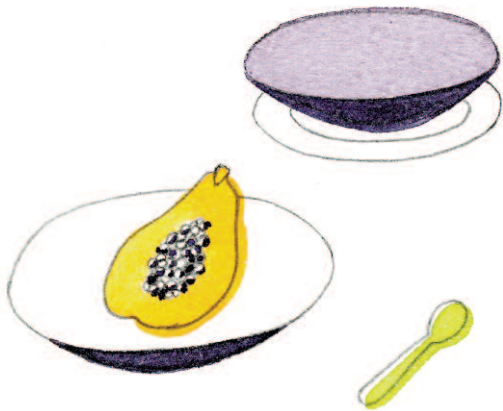
田中孝三／新潟県・刈羽ライオンズクラブ

「男の子のポスター」

我がクラブでは、国際平和ポスター・コンテストの優秀作品でカレンダーを作成しています。昨年度のコンテスト終了後、会長、幹事で参加してくれた小学校4校へ、カレンダー作成の報告と応募のお礼に伺った時のこと。校長先生が、ある男の子の話を聞かせてくれました。

その子は教室の床を壊したり、先生の言うことをあまり聞かない子どもだったそうです。しかし、コンテストに参加すると言ってからは一生懸命に絵を描き、世界の国旗が分からないと先生に相談に来るなど変化が現れました。国旗の本を見つけると、次の日朝早く登校し「先生、あの旗が見つかったよ」と言って、更に一生懸命にポスターを描きました。それからは人が変わったような学校生活を送っているそうです。

この男の子のポスターは、優秀作品12点の一つに選ばれ、カレンダーを飾りました。

西原佳宏／愛媛県・今治ライオンズクラブ

SCENE

白砂青松の地で 海の安全を見守る救護所

京都府・宮津ライオンズクラブ

■文／久保晋作　写真／明人

日本三景の一つ天橋立。全長3・6キロの砂州に約8千本の松が並ぶ。この景観を目当てに、四季を問わず観光客が訪れる。また、夏には涼を求めて京阪神から海水浴客が集まり、年に250万人もの人出があるという。

海水浴客に安心して奇麗な海を楽しんでもらおうと、救護所を設置しているのが宮津ライオンズクラブ（上山貞男会長／57人）。結成後間もなくこの事業を始め、43年目を迎える。

毎年、砂浜に色とりどりのパラソルが立つ頃、その合間に「ライオンズクラブ」の文字の入った仮設テントが姿を見せる。テントには2、3人で一組のメンバーが、毎日輪番制で、13時から16時まで常駐。長さ200メートル、奥行き80メートルの遊泳スペースを見守りながら、簡単なけがの手当てや迷子の保護、ゴミ拾いを兼ねた砂浜の定期パトロール。更には電車の時刻や付近の観光案内と、救護所、案内所として海水浴客にはなくてはならない存在になっている。

地元の観光協会では監視所を設置。海辺が一層にぎわう週末にはボランティアのライフセーバーに来てもらうなど、宮津ライオンズクラブを始め地域で手を取り合いながら、海の安全を見守っている。今年は7月26日から8月10日まで実施。後半に差しかかった8月6日に現地を訪れた。

8月に入ると、救護所は忙しくなる。クラゲに刺される海水浴客が増えて、日に数十人がテントを訪れるからだ。当直のメンバーは手当てに追われるが、準備は万端。クラゲは刺すと触手を残すので、まずは傷口を洗い流す。真水だと悪化する可能性もあるので、用意してある海水で洗浄。その後はアンモニア溶液を脱脂綿に含ませ、こすらないように刺された個所に当てて消毒する。不安げな表情でやって来た子どもたちも、メンバーの手際良い手当てと気さくな対応に、ほっとした様子だ。

翌7日はクラブ例会を兼ねて海辺の清掃を実施。これも毎年恒例の行事だ。朝6時、日の出と共に集合した約40人のメンバーは、砂浜や松並木に落ちる枝や木片まで、丁寧にゴミを拾い集める。残念なことに、砂浜には空き缶や空きビン、花火の燃えかすなどが散乱。それぞれ分別して処分した。

4月に開かれる「クリーンはしだて一人一坪大作戦」の清掃活動にも協賛している宮津ライオンズクラブ。海辺の安全と共に、天橋立の美しさを見守り続けている。

結成30周年を期して実現した「心の拠り所」ライオンズ会館

新潟県・巻ライオンズクラブ

巻ライオンズクラブ（阿部勝芳会長／73人）の事務局は1995年に建設された自前の会館。建坪114平方メートル。道路に面した三角屋根の部分が事務局で、奥には例会場も設けられている。事務局スペースの上（三角屋根の部分）は屋根裏倉庫になっていて、アクティビティなどの備品が収納されている。

ライオンズ会館建設の話が出たのは、結成15年目の79・80年度。実際は酒飲み話から始まったらしいのだが、飲むほどに語り合うほどに、話はどんどんエスカレート。ついには当時の若手会員によって「21世紀委員会」が起ち上げられることになり、巻ライオンズクラブの将来展望が話し合われた。

会館のアイデアもその中から出たもので、それをクラブへ提案。ベテランの会員たちも呼応してくれ、30周年を目指して毎月千円ずつの積み立てを始めた。そして目標通り、15年後に会館を建設。設計から施工まで会員の会社に依頼して、安く上げてもらったこともあり、1千万円の資金で完成した。ただし、当時はクラブで法人格を取得する方法がなく、土地の所有者でもあるライオン野澤俊の会社名義で登記し、ライオン野澤から借りるという形で固定資産税などを支払っている。

例会場には冷蔵庫があり、各自飲み物を持参する他、酒造会社を経営する会員が、中身が寂しくなってくると補充してくれるので、在庫は常に豊富。月のうち1回は夜例会なので、これまた会員の仕出し屋さんの弁当を食べながら、一杯やる会員も多い。

「何しろ我が家同然で落ち着くんです。いわば心の拠り所、オアシスですね」

と、30年近く前の「若手会員」ライオン関根忠三郎が、にこにこしながら話してくれた。

新年度の初例会恒例 新会長の船出に華添える狂言

京都烏丸ライオンズクラブ

京都烏丸ライオンズクラブ（石井良之会長／27人）の新年度初例会では、毎年、狂言が披露されるのが恒例だ。演じるのは同クラブの古典芸能研究会の面々。10年前に結成されて、現在は会員6人。以前の初例会では外から出演者を招いていたが、自分たちで何かやろう、と取り組んだのが始まりだ。「何か」が狂言になるあたり、古都・京都ならでは。「小学生の時に学校で『ぶす』を観たね」「ああ、ぼくもそうやった」と話すように、幼い頃から狂言は身近なものだったらしい。研究会の師匠は、人間国宝・茂山千作師（京都洛陽ライオンズクラブ）の直弟子、松本薫師。毎月1～3回の稽古に励み、芸に磨きを掛けている。

6月末、初例会を2週間後に控えた自主練習にお邪魔した。この日の稽古場は円山公園の奥、ライオン友田重誕が営む京料理店の座敷。メンバーが揃うと、普段着のままで立ち稽古が始まった。今年の演目は「いろは」。息子に「いろは」を教えようとした父親が自分の真似をするように言うが、何から何まで口真似されてしまう、というお話だ。

父親役のシテを演じるのはライオン友田重誕(右)、息子役のアドはライオン吉本裕一

狂言は抑揚や節回しが重要なので、初めは台本なしで口伝で台詞を覚えていく。師匠から台本を渡されるのは、本番の1週間前になってから。そのため、師匠の手本を録音して繰り返し聞いたり、書き起こしたりして、台詞を頭と身体にたたき込んでいく。

「ここぞという時に笑ってもらえると、『よっしゃ』と思う。病みつきになります」とライオン友田。ライオン西田寛は「みんなに拍手をもらった時は気持ちがいい」と言う。

そして迎えた本番。シテとアドの息もぴったり。滑稽な掛け合いに、初例会の会場は和やかな笑いに包まれた。

CLUB REPORT クラブ・リポート

●当欄はライオンズ、レオ、ライオネスの活動報告を扱います。投稿は住所、氏名、クラブ名を明記の上、800字程度で。関連写真があれば添付してください

福岡城東ライオンズクラブ

バリ島日本人会に本を寄贈

今年の2月下旬、福岡城東ライオンズクラブ（入江隆生会長／52人）有志でバリ島に出かけ、この時、日本語の本を持参して現地の日本人会に寄贈した。

クラブ・メンバーでのバリ島観光の話が最初に出たのは2年も前になる。現地の旅行代理店社長と交流があり、誘われていたのだ。ようやくこれが実現することになり、出発まであと1週間というある日、とある依頼が舞い込んだ。「何でも構わないので、本を持ってきてくれませんか？ 出来れば、持って来られるだけ」。

急いでメンバーに伝え、福岡市周辺の図書館と連絡を取ったり、友人や職場の仲間にお願いしたりして、新刊書を含む約150冊を収集した。飛行機の荷物重量の制限もあり、11人で持って行くにはこの辺りが限界だ。

イラスト／篠田和夫

バリ島では日本人会事務所で、図書の引き渡し式が行われた。ここでは1991年にバリ島日本人会が結成され、現在は450人余りがさまざまな文化サークルで友好を育んでいる。その一環である図書ボランティア活動では、図書室も構える。蔵書の多くはジャカルタ日本人会から寄贈された、80～90年代にかけて発刊されたものだ。そのため、会のメンバーが一時帰国する際に買って来てもらったり、旅行客からの寄贈等で充実を図ってきたという。日本に居れば簡単に手に入る新刊書や話題の本も、取り寄せるとなると相当な労力と費用が掛かるのである。

大人が読む本はもちろん、現地に住む日本人の子どもたちの情操教育の面でも、より多くの図書が必要とされていることを実感した。最初は軽い気持ちで本を持って行ったのだが、厳しい現実とそれゆえの感謝の心は、想像をはるかに超えるものだった。

ちょっとした情報を発信してくれたことで、ライオンズとして有益なボランティアが出来たことを感謝している。そしてまた機会があれば、ぜひより多くの本をお届けしたい。

（幹事／木下右二）

連絡先→092・771・5783

（編）海外にいると、日本語、特に活字に「飢える」と聞いたことがあります。読むことで摂取する栄養は、想像以上に大きいのかもしれません。

京都府・綾部ライオンズクラブ

下垂体機能障害を難病指定に

綾部ライオンズクラブ（四方素生会長／31人）には、有志による中枢性尿崩症患者・家族・支援者の会「ぶなの会」（代表・ライオン藤田昇）がある。この活動にクラブを挙げて協力していくことを、昨年8月の定例理事会で決定。あやべ産業祭りやサッカー大会会場などで、「下垂体機能障害の難病指定請願署名運動」に取り組んできた。これは脳下垂体からのホルモン分泌の異常により引き起こされる病気で、発達異常や機能障害などさまざまな症状がある。335・C地区内各クラブにも呼び掛けて、多くの方から貴重な署名を頂いた。

去る3月4日、会長以下4人が京都府庁に小石原副知事を訪ね、知事への請願署名約1万2300人分と患者の切実な思いの書かれた手紙を手渡すことが出来た。同運動に当初からご理解・ご尽力頂いている多賀久雄府議会議員（宮津ライオンズクラブ）も同席され、終始和やかな雰囲気であった。副知事からは「難病対策については以前から国にお願いしており、今後もこれを強く続けていく」という言葉を頂いた。

その後、3月21日に京都府議会本会議で、国に対し施策の積極的推進を求める意見書が採択され、また綾部市議会で同25日、舞鶴市議会でも6月24日に、同様の意見書などが採択された。

現在、国では研究班を設置し、123疾患を対象に難治性疾患克服研究事業（特定疾患調査研究分野）として、原因の究明、治療方法の確立に向けた研究を行ってる。厚生労働省は6月23日、下垂体関係3疾患と他4疾患を新たに加え、来年度から130疾患を対象とすることを決定した。このことは、患者を始め運動を続けてきた私たちにとっても大きな喜びとなった。

しかし、認定を待つ病気はまだたくさんあるのである。今後難病全般に対する理解・認識がより深められ、対策が更に充実されることを願っている。

（綾部ライオンズクラブ広報委員会）

連絡先→0773・40・2161

（編）患者が戦う相手は、病気の苦しみ、高額な医療費、世間の不理解。3番目の敵は私たち一人ひとりの中にあります。それを発見、退治することを周囲にも広めていきたいですね。

沖縄県・浦添、浦添てだこ、浦添ウエスト
ライオンズクラブ

ジュニアフットサル大会で大熱戦

今年で第3回になるライオンズクラブカップてだこ祭りジュニアフットサル大会は、浦添市内3クラブ（浦添37人、浦添てだこ39人、浦添ウエスト27人）が合同で、毎年7月の浦添てだこまつり期間中に開催している。青少年健全育成を目的としたアクティビティである。

今年も7月20日（日）、祭り会場となっている浦添運動公園の屋内運動場で熱戦が繰り広げられた。今年は浦添市内の小学生による7チームが出場。外の気温は33度という猛暑の中、選手160人、家族を合わせて335人が大会会場に。

審判を務めるのは、ライオンズ会員と、浦添市サッカー協会及び浦添市サッカー協会ジュニア委員会からボランティアで参加頂いたメンバー。選手たちによる白熱した試合が、客席の熱狂的な応援の下で繰り広げられ、場内は発火寸前。

今年は市内の強豪3チームが県大会に勝ち残ったため、ライオンズクラブカップには参加出来なかったのだが、にもかかわらず大盛況、大変エキサイティングな大会だった。優勝は内間JFC。おめでとう！（浦添ウエスト・ライオンズクラブPR委員長／與那覇正直）

連絡先→098・875・1719

（編）近年大人気で、フットサル人口も上昇中。来年以降も更にヒートアップしていきそうですね。

大分県・別府中央ライオンズクラブ

豊後の海の幸・鯖100匹を贈る

別府中央ライオンズクラブ（33人）のホームグラウンドは「湯の町別府」。別府温泉は湯量日本一、世界でも第2位を誇る。旅館やホテルだけでなく、温泉と深いかかわりを持つ医療施設の他、民間の老人保健施設も多数ある。別府湾に面するこの土地は、晴天時には豊予海峡の先に四国最西端の岬、愛媛県の佐多岬を望み、背後を阿蘇くじゅう国立公園が囲んでいる。

さて、この豊予海峡のサバ、アジは、潮流の激しさから身がしまり、刺身にして甘い。多くの観光客に喜ばれ、全国的にその名をとどろかす。一本釣り漁法のため、通常1日に数匹しか釣れず、値段は店売り価格で1匹4千円前後にもなる。

我がクラブの会員ライオン南健治は、豊予海峡で漁を営む遊漁船の船長。身体頑丈な骨格に日焼けした顔の持ち主だ。7月のある日、漁に出たところ、このサバを2日間で何と100匹も釣り上げてしまった！　近頃は海の生態系の破壊と、温暖化による海温の上昇から捕獲量が減ったと言われているのに。

そしてライオン南はその全部をクラブにドネーションしたのである。即日、別府中央ライオネスクラブからも多数の助っ人を得て、100匹を三枚におろし味噌漬けにした。600枚の切身が冷凍庫いっぱいに保管されることになった。

数日後、ライオン、ライオネスの共同アクティビティとして、市内の養護施設1軒と老人保健施設3軒を訪問。入居している皆さんにお届けし、大変喜んで頂いた。このすばらしい事業を行うことが出来て、我々も大変うれしく思ったのである。（会長／神保治夫）

連絡先→0977・22・3378

（編）よだれが出そうなアクティビティですね。三枚おろしの骨の部分でも頂きたい。

千葉県・佐倉ライオンズクラブ

タウゼント・ハリス公像建立

一昨年、佐倉ライオンズクラブ（桜井英一会長／28人）結成40周年記念として、佐倉城址公園本丸入り口に、日米修好通商条約締結に尽力し、開国の父と呼ばれた佐倉藩主堀田正睦公の立像を建立した。

そして今年は同条約締結150年。これを記念して、正睦公が交渉を重ねてきた初代日本総領事タウゼント・ハリスの銅像を建立したのである。日本初となるハリスの立像は、等身大の172センチ。開国を目指した2人の像は、本丸跡に続く道を挟んで並び、アメリカの方角を見据えて立っている。

除幕式は条約締結と同じ6月の14日に開催。アメリカ大使館のロナルド・ポスト広報部公使や、ハリスが日本最初の領事館を設置した伊豆下田・玉泉寺の村上住職、蕨和雄佐倉市長、堀田家第13第当主正典氏ら約120人に出席頂き、晴れやかに銅像完成を祝うことが出来た。

佐倉城址公園という誰もが気軽に足を運ぶことの出来る場に設置することで、多くの人の目に触れて、偉大な政治家・堀田正睦公が、私たちの佐倉にいたことを知ってもらいたい。また、来訪者だけでなく広く市民に、幕末の佐倉が輝いた由縁を理解して頂きたい。更に、銅像建立が起爆剤となり、まちづくりへの波及効果が高まることも期待している。（地区ガバナー、ハリス像建立実行委員長／塚田雅二）

連絡先→043・485・5341

（編）幕末、開国を巡り社会が大揺れだったのはわずか150年前。短い間に日本は随分変わったのですね。

大阪府・八尾中央ライオンズクラブ

近所のオッチャンは地域の見張り番

7月7日、七夕の日の暑い朝。八尾中央ライオンズクラブ（岩﨑英夫会長／57人）の保健体育及献血薬害防止委員会メンバー9人は、八尾市立曙川中学校で1、2年生を対象に、今期初のアクティビティ「薬物乱用防止講座、ダメ。ゼッタイ。」の講演を行った。

ザワザワ、ゾロゾロと入場してくる中学生。「どんな話かなあ、おもしろいかなあ」と落ち着かない。担任の先生が「静粛に！　各自、服装を正せー!!」と一喝してもなかなか収まらない。これは、ちょっと手強いかな?と、講師の2人が顔を見合わせた。

しかし、「おはようございます！　オッチャンたちは今日、仕事の時間を割いてここへ来ました。宝物のように大事な君たちを守るために来たんですよ」の第一声から子どもたちの表情が変わった。薬物乱用の恐ろしさを、スクリーンへの投影と講師の話で効果的に進めていく。子どもの真剣な目、身を乗り出して聞いている子。シーンと静まった会場に講師の声だけが響いた。終盤では夜回り先生（水谷修氏）の話や、校門横に張ってあった標語『やめろよ』と言う勇気を大切に！」の言葉を用いて講演を締めくくった。

我々はこれまでに小学6年生には十数回講演を行った経験があったが、中学生相手は初めてだった。しかし、外気30度を超える中、空調のない体育館で、400人以上の生徒が真剣に私たちの話を聞いてくれた。この満足感、達成感は大きい。

費用がかさむアクティビティは多いが、薬物乱用防止講座は非常に低予算で高い効果（ライオンズの宣伝も含めて）がある。実際我々のクラブには、地域の小中学校からの講座開催の依頼が多数来る。生徒だけではなくＰＴＡや学校の保健担当の先生方への講演を行った結果、この講座はかなり認知されるようになった。大阪府知事からも薬物乱用防止の功労団体として表彰され、誇りと自信を深めている。

今回、蒸し暑い体育館で滝のように流れる汗の中での講演が終わり、外に出た時、心にすがすがしい初夏の涼風が吹いていたことを決して忘れまい。

そうです！　近所のオッチャンたちはこれからもがんばるぞ!!（正木猛司）

連絡先→072・994・2847

（編）当日は他クラブのメンバーが、参考とするために見学に来たとのこと。今後同講座の開催は更に広がりを見せそうですね。

千葉県・南房総ライオンズクラブ

新年度幕開けのブレーンストーミング

南房総ライオンズクラブ（17人）は7月10日、新年度第1回の例会を開催した。白幡進会長の下、新たな1年の幕開けである。

会員の声を聞き、これからの活動の指針に生かそうと、会長の提案でブレーンストーミング（BS）方式によるミーティングを、例会開始前の30分間に行った。お題は今後の事業について。30分間がまるで短く感じるほど、会員全員の思いが述べられた有意義なミーティングとなった。

BSは以下の原則で進められる。①他人の意見を批判しない。②思いついたことをドンドン言う。③質より量で、出来るだけ多くのアイデアを出す。④他人の意見から連想してアイデアを膨らませる。

全員が順番に発言し、パスは御法度。メモを取るなどして他人の意見も真剣に聞きながら、自分の意見を簡潔にまとめ、発表は最低3巡にはなった。

これからやってみたいアクティビティとして挙がった意見は、「市内での桜の植樹」「クラブ間や市民との交流を深めるパークゴルフ主催」「NPOとの協働」など。

このBSにより、ライオンズの一員としての会員の自覚、また仲間同士の意識が強くなったと思う。ここで出た貴重な意見をまとめ、更にこれを煮詰めていく第2ステップが計画されている。

（前会長／松本宰史）

連絡先→0470・23・6119

（編）皆がクラブの活動に主体的にかかわり、情報の共有も出来る、すばらしい方法ですね。アクティビティを実施する際のモチベーションも変わってくるのではないでしょうか。

千葉県・銚子ライオンズクラブ

アカペラの夕べを開催

銚子ライオンズクラブ（梶木敏彦会長／47人）は7月30日、クラブ結成45周年記念事業の一つとして、ハーバード大学コーラス・クラブ「ディン&トニックス」を招いて「アカペラの夕べ」を開催した。当日は地区役員やライオンズ・メンバー、YE生（メキシコの高校生パオラ嬢）、市民ら多数が集いに参加して、ハーバードの若者と交流を深めた。

ディン&トニックスの11人は夏休みを利用して、世界の「一流都市」を歴訪中。ロンドン、ローマ、ストックホルム、キプロス、ニューデリーの他、日本では京都、東京の次に銚子へというコース。

この日は、古き良きアメリカのスタンダード・ジャズ・ナンバーやポップスなど約10曲を披露し、聴衆皆がすばらしい歌声に酔いしれた。7、8月に誕生日を迎える市民とライオンには、「ハッピー・バースデー」の歌も贈られ、会場総立ち、拍手喝采で盛り上がった。

学生たちへの質問コーナーで出たのは当然、「子どもの頃何時間くらい勉強しましたか」。11人全員に答えてもらったところ、彼らは元々頭が良かったのだということが判明した。

キャプテンのハリソン君は2年前に銚子を訪れており、人々の温かさ、すばらしさに感激して、今回は、「いちばん気に入った街」に後輩を連れて来てくれたのだそう。「今夜は最高に楽しい！」を連発。

大リーグのレッドソックスとヤンキースの試合で歌った時よりも楽しい、とまで言ってもらって、私たちも感激しきり。忘れられない夜になった。

（情報委員会／田原誠）

連絡先→0479・24・5858

（編）ハーバード大学は、1636年に設立されたアメリカ最古の市立大学。7人の大統領と、19人のノーベル賞受賞者を輩出しています。

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）
●投稿要領→56ページ

提言・ケータイ考

佐藤　嗣人（栃木県・西那須野）

私は携帯電話（以下ケータイ）が嫌いです。というよりもケータイをかけている人を見るのが大嫌いです。

世の中にケータイが現れてまだ何年にもならないのに、その普及率は目を見張るばかりです。モデルが変わり新機種が出ると、すぐに買い替える人も多く見られます。

私も最初は物珍しく、これを持たないと時代に乗り遅れるような気がして、比較的早く購入しました。通話が出来ればそれでよいのでメールもしませんし、一度買い替えたきりです。ポケットに入れるのも、持って歩くのも邪魔で困ります。

いい年をした大人が人目もはばからず公衆の面前で電話をしたり、ケータイ片手にメールを打っているのを見ると、本当に情けなくなってしまいます。会話の内容を聞くともなく聞いていると、ほとんどの場合どうでもよいことのようで、とても緊急であるとは思えません。しかし、ケータイの利便性も全く否定する訳ではありません。

営業で外回りの多い人、緊急な連絡を待っている人などがそうです。でもそれはほんの一握りの人たちでしょう。大概の場合はケータイなどなくても、固定電話や公衆電話で対応可能なはずです。

電車の中や、歩きながら大きな声で話すことはとても恥ずかしいことなのだと、どうして感じないのでしょうか。着メロも問題です。聞きたくもない音を傍若無人に鳴らして、他人には全く苦痛そのものです。メロディーも実に下品な曲が多いように思います。

突き詰めて考えると、どうも日本人が、本来美徳とされていた謙虚な気持ち、恥を知るということ、他人を思いやる気持ち、規範意識、道徳観といったものを失いつつあるような気がしてなりません。古来、我が国は武士道精神が尊ばれ、武士はもちろんのこと、町人もそれを見習うといった美しい日本であったはずです。

いつの頃からか日本人は品位のない民族に成り下がってしまいました。この辺で一人ひとりが、真剣に考え直さないといけない時期が来ているように思います。

人前でケータイを使うことはとても恥ずかしいことで、常にマナーモードを使い、話をする時は部屋から出て、小さな声で人目をはばかるようにすべきです。

ケータイの弊害は出会い系サイトなど事件につながるようなこともあり、これも問題です。本当はこの世にケータイなどいらないのです。これがなくとも現代は十分暮らしていけます。ケータイが世の中に現れてから失ったものの方がずっと多いのです。

どうか皆さん、ケータイを持つのを止めようではありませんか。そして穏やかな気持ちで、ゆったりと、品位を持って生きていこうではありませんか。いつの日か、この世からケータイがなくなることを心から願うものです。

（医師・65歳）

イラスト／小川和政

複合地区って何？

高木　次雄（千葉県・野田）

複合地区年次大会をどう考えるか？　お祭りか？　いや、会社で言えば総会なのだから真面目に！

皆さんはどうお考えでしょうか。

私は昨年度、333複合地区年次大会実行委員長を仰せつかるに当たり、実行委員会はホストクラブにお願いせず、自分が所属する333・C地区内から12人の方に委員になって頂きました。ライオンズ活動に熱心で、日頃から顔見知りの心安い人たちです。

第1回の委員会では、まずガバナー協議会議長の基本姿勢と方針をお聞きしました。次に各委員の皆さんの考えを聞き、複合地区年次大会の目的と意義について話し合いました。

年次大会は大事な議決権の行使の場でもありますから、参加者のアクセスも考慮しなくてはなりません。また、１５００人が入れなくてはなりません。候補として、東京ディズニーランドに隣接するシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルが挙がりました。ディズニーランドは今や世界的に有名です。話し合いの結果、全員一致でここに決めました。実はこれが、後々予算を逼迫させる元となるのですが……。

しかし、今までに無いロケーションで、最高の会場ではありました。今回はまず会場を決めてから、そこに合うイベントを考えることになりました。実行委員会では、さまざまな意見が出ました。

「時々、『複合地区って何？』という会員がいるが、そういう方々にも納得してもらえる大会にしたい」「これまで53回も繰り返していれば、どうしても毎年同じような感じにならざるを得ない、何とか参加者が楽しめて、なおかつ有意義な企画にしよう」

会議を重ねるうち、だんだん欲張りなものになっていきました。

その中で、前夜祭のアトラクションの話になりました。これは議長の推薦でテノール歌手の錦織健さんに決めました。メーンを含め、概要が決まった段階で、年次大会PRパンフレットを作成し、配布することにしました。このPR作戦は後になって、効果があったようです。

次は大会式次第の簡素化です。式典委員にお願いし、前夜祭も大会もシンプルにしようとしました。が、なかなか大変でした。出番が無いとか、プロトコールがどうだとか、我々一般会員と、壇上で話す方々の方向が１８０度も違いました。これは今後の課題でしょう。変化を求めるのであれば、まずそこからお願いしたいものです。ライオンズクラブには、見栄とかメンツはいらないと思いませんか？

今回は結果として１００％満足出来る内容ではありませんでしたが、複合地区の年次大会は、実行委員会15人に、サポート・メンバー15人がいれば出来ることを実感しました。最後に反省を込めていくつか書き出してみます。

①実行委員会には目的を明確に持ち、行動力がある若い人を選ぶ
②委員の人選は委員長がする
③委員会の打ち合わせは出来るだけ電子メールやFAXで行う（会議費の削減）
④ガバナー協議会と常に連絡を取る
⑤会場は議長の出た地域でなくとも便利な場所を選ぶ

④に関しては今回は後手後手になり、申し訳なく思っています。少なくとも会議の内容をメール、FAXすべきでした。

また、予算については、一人専従者を置くべきだと感じました。

（指圧師・66歳）

「ライオンズクラブに入会して良かった」の一言を聞く喜び

鍋野　可幸（愛知県・名古屋城東）

「あの人はすばらしい人だ。ぜひ、我々のクラブに入会してほしい」
「あの人が我々の仲間に加われば、必ず活動の力になって頂ける」

そう思える友人や知人が、皆さんの周囲に1人や2人はおられると思います。思い当たる人にアタックして、ライオンズクラブのすばらしさを熱心に説明し入会に誘う行動、これこそが最大のアクティビティではないでしょうか。

①悔いのない人生を生きるために、社会奉仕に参加しませんか
②新しい仲間を得て、豊かな人生を実現させませんか
③年長者や異業種の方々と交流する機会を持ちませんか

このような言葉を熱心に語り、自分がライオンズクラブに所属して「勇気」と「情熱」と「感動」を得ていることを具体的に語りましょう。この言動が人を動かし、会員増強の決め手になると思います。

新会員のスポンサーとなることは、母親が子どもを産む喜びに似ていると思います。スポンサーとして新会員の成長をサポートして、将来、クラブ会長に育ってもらうことを夢見る喜びとでも言いましょうか。そして、「ライオンズクラブに誘って頂いて、私の人生が豊かになった。本当にありがとうございました」の一言を聞く喜びです。

そこで、具体的な会員増強の戦略と戦術です。もちろん、会員増強を企てるに当たっては、善良な市民ならば広く門戸を開き、年齢、性別、職業、国籍にも差別なく、対象者とすべきですが、いわゆるマーケティング分析も必要となります。ターゲットとして考えられるのは、

①若年経営者（35歳～50歳）で横文字の会社の代表者（事業が軌道に乗り、社会的交流を望み、少しでも奉仕の気持ちを有する人）
②定年退職者（60歳以上）で生活が安定している人（人生の終局を迎え、新しい人との交流を望み、社会奉仕に積極的に参加を希望する人）

などです。また、戦術として2～3人編成の会員増強チームを作ることも効果的だと思います。例えば、

①自宅が近い会員たちによるチーム（女性会員や夫人たちの力を借りて、町内での対象者を探す）
② 若手会員主体のチーム（同年代の友人、知人を誘い、女性会員も勧誘する）

こうしたチームを編成し、会員増強に当たるのです。

ただ、一つ心配があります。現在、ライオンズクラブは残念ながら、会員減少の結果、活力まで減退し、クラブとしてパワーを発揮していません。そこで、会員増強の前提として、

①感動するアクティビティの実行（単なる金品の寄贈アクティビティではなく、労

力アクティビティでクラブの全員参加を促し、汗をかく）
②楽しい例会の運営努力（時局に対する話題、健康、福祉に対する議論、家族会や姉妹提携先との楽しい交流）
③和やかなクラブの雰囲気づくり（年齢、経歴、上下の区別なく、人格を尊重し意見交換出来る）

等を実現し、誇りに思えるクラブを目指す必要があると思います。

【会員勧誘案の一例をご紹介】

２００４・05年度、国際協会の会員増強アイデア・コンテストにおいて、私が第2位に入選（アジア地区で５人）した時のアイデアをご紹介致します。

「入会候補者をクラブの例会やアクティビティにゲストとして招き、１日体験入会をして頂く。例会での多彩な交流、有意義な奉仕活動の現場を体験して、ライオンズクラブへの入会意欲を助長し、入会への決断をして頂く勧誘案です。

今年度、334・Ａ地区第９リジョンでは、江上祐吉リジョン・チェアパーソンのご指導の下、太田勇造ゾーン・チェアパーソンの協力により、新生第９リジョンの最重点目標を会員増強と決め、20％以上の爆発的増員を目標に、各クラブ会長を始め、メンバーが一丸となって努力しております」

お互いにライオンズクラブのためにがんばりましょう。（不動産コンサルタント・71歳）

ジャパンかニッポンか

佐藤 三喜男（山形）

６月号獅子吼に掲載された「呼称『ＮＩＰＰＯＮ』への悲願」を拝読しました。投稿されたライオン鬼塚俊郎は「ジャパン」の由来が「マルコポーロの記述に始まると言われ、小柄な日焼けした襦袢姿の日本人を見て、そのきたならしい装いから、ジュバンがなまってジャパンとなったという説もある。いわば、日本の国民を軽蔑する言葉でもあろう」とし、「ジャパン」と「日本」の国名の使い方に疑問を感じていると書かれていました。

しかし、私は「ジャパン」も「ニッポン」も全く違和感なく受け止めています。

なぜならば、ジャパンはライオン鬼塚が書かれておられる通り、マルコポーロの『東方見聞録』にある「ジパング」が由来と言われています。が、マルコポーロ自身は日本には来ておらず、中国へ立ち寄った時に日本のことを伝え聞いたにすぎません。

当然、国名は中国語読みだったわけで、中国人たちが「ジーベン」と教えたのが、「ジパング」になったと考えます。「日」は「ジツ」と発音しますし、現在の北京語においても、「ジーベン」に近い発音であると思います。

そう考えれば、日本もジャパンも元々は同語であり、全く違和感がありません。中国国内では「中国」を「チョングオ」と発しますが、日本では「チュウゴク」ですね、それと同じなのです。

外務省の正式呼称もジャパンであり、既に諸外国にて正式呼称となって親しまれています。

日本に初めてキリスト教を伝えたことで知られるフランシスコ・ザビエルは、日本人を「今まで出会った異教徒の中で、最も優れた国民」と評しました。私たちはその子孫として、誇りを持つべきでありましょう。

現在、我が国はＯＤＡにおいても、国連への拠出においても、生産するあらゆる製品の品質においても、世界から尊敬の目で見られており、決してジャパンの発音に特別な意味など持たれていないでしょう。

元々が同じである以上、相手が呼びやすく、認識しやすい呼び名で呼んでもらってかまわないと考えていますが、皆さんいかがでしょう。

（通信機器販売業・70歳）

335－B地区会員増強大作戦

出田　秀（大阪府・豊中千里）

2007－08年度、335－B地区（大阪府・和歌山県）では辻吉治地区ガバナーが、重点政策の筆頭に「会員増強大作戦」を掲げ、その一つとして「大阪、和歌山の行政のすべての長をライオンズクラブに迎え入れる」ことを訴えられました。

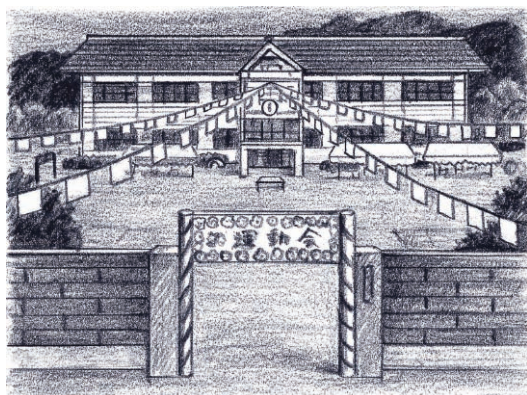
辻ガバナーの方針を受け、地区内各クラブは活発に招請活動を展開しました。そのおかげで昨年度中に、15人の行政の長を迎え入れることが出来ました。

そして、その有終の美を飾って頂いたのが、4月27日の335－B地区年次大会へ来賓としてお招きした、平松邦夫大阪市長の入会です。

これは辻ガバナーが、自らこの重点政策を実現するために大阪市役所へ出向き、平松市長と面談。ライオンズクラブの奉仕活動のこと、ライオンズクラブ国際財団（LCIF）が世界のボランティア団体の中で最高の評価を受けたことなどを詳しく説明され、市長を名誉会員としてお迎えしたいと伝えたことで実現しました。

市長から入会のご連絡を頂いたのは年次大会の直前でしたが、このすばらしい報告を、ぜひ多くの会員の前で行いたいとの辻ガバナーの意向を受け、略式の入会式を年次大会の中で執り行うことになりました。平松市長も私たちの急な要請に快くお応え頂き、入会の宣誓、更に自らライオンズ・ローアをなされ、会場を盛り上げて頂きました。

また、辻ガバナーは大阪市長以外にも、イタリア、韓国、アメリカの領事館も訪問され、総領事に名誉会員としての招請の意向を伝えられました。結果、イタリアと韓国の領事は入会を快諾され、アメリカはワシントンへ申請中の報告を受け、地区ガバナー方針重点政策が達成出来たことを喜んでいます。

（広告制作・60歳）

お仏壇・仏具はやっぱり京都

（株）若林

伝統工芸　京仏壇・京仏具

京都本社　〒600-8218京都市下京区七条通新町東入　☎075-371-3131（代）
東京店　〒146-0081東京都大田区仲池上2-8-13　☎03-3755-8488（代）
築地店　☎03-3546-8228（代）
札幌店　☎011-512-3455（代）
仙台店　☎022-213-0666（代）
近江草津店　☎077-564-1011（代）
福岡営業所　☎092-761-3737（代）
新潟営業所　☎025-255-0868（代）

◎お仏壇のカタログ差し上げます。
◎お近くの若林各店までお気軽に。

京都ライオンズクラブ会員　若林正博

読者プレゼント

一日入浴招待券をペアで10人の読者に

童話「金太郎」のふるさととして知られる神奈川県南足柄市の温泉施設「おんりーゆー」の一日入浴招待券が、ライオン桜井孝一（330-B地区ガバナー／南足柄ライオンズクラブ）から2枚1組で10人の読者にプレゼントされます。

同施設のコンセプトは「モダン湯治スタイル」。森の木々に囲まれた露天風呂の他、自然素材を用いたオーガニックスパ、座禅やヨガ、写経を体験出来る無料講座など豊富なプログラムが楽しめます。また、食事は健康に配慮しながら、素材の旨さを引き出した京風おばんざいバイキングが提供されます。

応募要領：はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名を明記し、ライオン誌「温泉」プレゼントあてに。本誌ウェブマガジン（www.thelion-mag.jp/modules/inquirysp/index.php?op=0）からも応募出来ます。

本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は10月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

2008年11月号予告

THEME **日本の食を考えるⅠ ～食の危機**

相次ぐ食品偽装に食糧自給率低下、更には健康ブーム、食育など「食」への関心は高い。日本の食について考えるシリーズの第1弾として、自給率40％を切った日本の食糧事情と、その反面で大量の食糧を廃棄し続けている現状など、危機的な状況をリポートする。

ライオン誌投稿要領

▼原稿は誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合があります。原則として原稿の返却は致しません。返却希望の場合はその旨を明記してください。▼電子メールでの写真投稿は長辺1,600ピクセル程度のJPEG最高画質で。▼住所、氏名、クラブ名を明記。

■クラブ・リポート46～50㌻：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。関連写真があれば添付。

■獅子吼51～55㌻：会員及びその家族によるエッセー、提言など。1,600字程度。職種、年齢を明記。

■エブリデー・ヒーロー40㌻：ライオンズクラブにまつわる「ちょっといい話」をお寄せください。800～2,000字程度で。会員家族、事務局員の投稿も歓迎。

送付先：
〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1　築地細田ビル7階　ライオン誌事務所
Fax：03-3546-2630　E-mail：edit@thelion.jp

築地通信

●THEME「アラート・プログラム」の編集作業をしながら、自分の防災準備のおそまつさを実感。編集時期が9月の防災月間に掛かったのも相まって、テレビや新聞、区報でも「備えてますか？」と問い掛けられる。とりあえず観音開きの棚の扉にはフックを取り付けてはあるけれど、棚の転倒防止はまだ。防災グッズも整えなくちゃ……さてどこへ置こう。地震の時、家の中に安全な場所は……ない？ ご近所さんの顔見知りもごくわずか。何を取っても悪い見本。反省→改善せねば。（やなせ）

●今回で2回目の掲載となる「エブリデー・ヒーロー」。ブランデル国際会長の言葉をタイトルにしたこの欄では、ライオンズが日々起こしているささやかな、そして時には大きな奇跡を紹介している。読者の皆さんの近くでも必ず起きているに違いない、ささやかな奇跡をぜひ本誌にお知らせください。（かわむら）

ライオン誌事務所来訪者芳名録

7/30　東京成城　三和田義広
7/30　東京成城　吉岡正充
7/30　東京成城　長屋静夫
7/30　東京成城　蟹澤光明
7/30　静岡県浜松リバティ　鈴木英生
8/12　北海道函館グリーン　後藤忍
8/12　富山昭和　高田順一
8/18　岐阜県瑞浪　五十嵐貞夫

Official publication of Lions Clubs International

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

EXECUTIVE OFFICERS
President, ALBERT F. BRANDEL, 14 Herrels Circle, Melville, New York 11747-4247 USA; Immediate Past President, MAHENDRA AMARASURIYA, No. 70, Fife Road, Colombo 5, Republic of Sri Lanka; First Vice President, EBERHARD J. WIRFS, Am Munsterer Wald 11, 65779 Kelkhem, Germany; Second Vice President, SIDNEY LEE SCRUGGS, III, 698 Azalea Drive, Vass, North Carolina 28394 USA.

DIRECTORS
BISHNU BAJORIA, West Bengal, India; MALIK KHUDA BAKSH, Karachi, Pakistan; DANA BIGGS, California, USA; KEN BIRD, Queensland, Australia; ERMANNO BOCCHINI, Napoli, Italy; WAYNE E. DAVIS, Virginia, USA; RYUICHI GOTO, Chiba, Japan; DR. PATRICIA HILL, Alberta, Canada; KWANG-SOO JANG, Ulsan, Korea; LARRY G. JOHNSON, West Virginia, USA; MAURICE M. KAHAWAII, Hawaii, USA; SHINJI KAYAMORI, Aichi, Japan; VINOD KHANNA, New Delhi, India; EDWARD J. LECIUS, New Hampshire, USA; DOUGLAS A. LOZIER, Indiana, USA; SHYAM MALPANI, Mumbai, India; ART A. MARSON, Wisconsin, USA; DR. JERIMIAH MYERS, Alaska, USA; ELLIS SURIYATI OMAR, Kuching, Malaysia; DR. HAROLD R. OTT, Pennsylvania, USA; GEORGES PLACET, Ludes, France; TAPANI ANTERO RAHKO, Järvenpää, Finland; EUGENIO ROMAN BAEZ, Arecibo, Puerto Rico; BOJAN SOBER, Rijeka, Croatia; DR. TON SOETERS, Huizen, The Netherlands; NEIL R. SPENCER, Florida, USA; BEVERLY L. STEBBINS, Texas, USA; TADAO SUGIMOTO, Hokkaido, Japan; PROF. DR. HAYRI ÜLGEN, Istanbul, Turkey; ROSANE JAHNKE VAILATTI, Penha, Brazil; NELSON VIDAL, Lima, Peru; VINCE VINELLA, Nevada, USA; DEBRA WASSERMAN, Minnesota, USA; WILLIAM B. WATKINS, SR., Tennessee, USA.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　後藤隆一
国際理事　栢森新治
国際理事　杉本忠夫
委 員 長　山根　健（336複合地区）
編 集 長　坂井　正（333複合地区）
委　　員　渡邊豊隆（330複合地区）
委　　員　瀧澤嘉門（331複合地区）
委　　員　坂本和彦（332複合地区）
委　　員　小岱義正（334複合地区）
委　　員　大島康男（335複合地区）
委　　員　塩倉安伸（337複合地区）

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp
Website:www.thelion-mag.jp

編集室

2008-09年度編集長方針

ライオン誌
日本語版編集長
◉
坂井正

『ライオン』誌日本語版は創刊満50年となり、1月号から大幅な誌面刷新を図りました。が、その根底に流れるものは変わっておりません。ライオンズクラブ国際協会の公式機関誌としての役割を十分認識すると共に、ライオニズムの専門誌として読者会員の関心を引く話題を常に取り上げていきます。

基本的には国際理事会方針に則り、ライオン誌日本語版委員会方針に則り、国際理事のご指導を仰ぎながら、国際会長の方針・目標を全国の会員に浸透させるべく努めます。

以下、具体的に本年度の編集長方針を提示致します。

1　ライオンズクラブの専門誌として、毎号の特集企画であるTHEMEの編集に全力を傾注し、より一層内容を充実させます。

2　ブランデル国際会長が提唱されている「エブリデー・ヒーロー」「アラート・プログラム」にかかわる企画を設け、それぞれの浸透を図ります。

3　日本ライオンズの悲願でもある、日本からの国際会長誕生に向けた話題を積極的に取り上げ読者会員のニーズに応えます。

4　CSFⅡに続く国際協会の最優先課題GMTの活動を誌面を通じて後押しします。

5　過去2年間にわたり取り組んできた、国際大会参加・代議員投票推進の啓発記事を今年度も継続します。

6　明日の日本ライオンズを考えた時に欠かすことの出来ない指導力育成を取り上げ、当委員会発行のライオンズスクール・シリーズとの連動も図ります。

7　ウェブマガジンに新機能を搭載し、地区やクラブの情報をダイレクトに提供出来るように努めます。

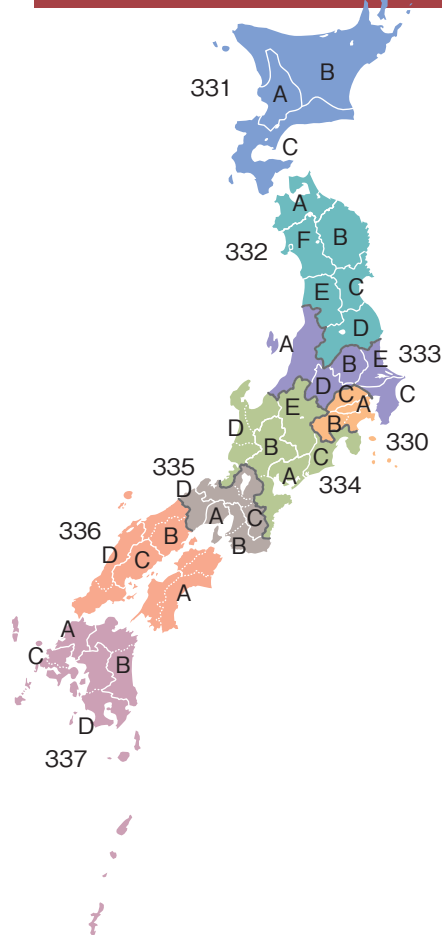
8　読者モニターの導入により、読者の声を生で拾い、誌面作りに反映させます。

国際理事を始め、各複合地区を代表するライオン誌日本語版委員、及び事務所職員が一丸となって、より良い誌面作りに励みます。これまで以上のご愛読をお願い申し上げます。

日本のライオンズ

2008.7.31　各地区キャビネット事務局集計

地区	都道府県	■クラブ数	期首からの増減	■会員数	期首からの増減
330-A	東京	202	0	5,171	45
330-B	神奈川・山梨・東京	193	0	5,304	77
330-C	埼玉	104	0	2,801	27
330	計	499	0	13,276	149
331-A	北海道（道央）	77	0	2,770	32
331-B	北海道（道北・道東）	93	0	2,776	20
331-C	北海道（道南）	60	0	1,950	0
331	計	230	0	7,496	52
332-A	青森	68	0	1,974	-1
332-B	岩手	55	0	1,737	10
332-C	宮城	82	0	1,577	20
332-D	福島	77	0	2,111	12
332-E	山形	58	0	1,922	-8
332-F	秋田	52	0	1,326	-10
332	計	392	0	10,647	23
333-A	新潟	80	0	3,044	27
333-B	栃木	57	0	1,436	8
333-C	千葉	135	0	3,615	12
333-D	群馬	56	0	2,074	27
333-E	茨城	81	0	3,048	-10
333	計	409	0	13,217	64
334-A	愛知	119	0	5,797	31
334-B	岐阜・三重	87	0	3,937	36
334-C	静岡	84	0	3,388	20
334-D	富山・石川・福井	101	0	4,296	29
334-E	長野	53	0	2,217	21
334	計	444	0	19,635	137
335-A	兵庫（東）	109	0	2,916	20
335-B	大阪・和歌山	203	-2	6,738	53
335-C	滋賀・京都・奈良	122	0	4,407	41
335-D	兵庫（西）	66	0	2,144	5
335	計	500	-2	16,205	119
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	156	0	6,192	13
336-B	鳥取・岡山	99	0	3,542	2
336-C	広島	104	-1	3,924	17
336-D	島根・山口	105	0	3,503	7
336	計	464	-1	17,161	39
337-A	福岡・長崎	118	0	4,801	64
337-B	大分・宮崎	82	0	2,577	-8
337-C	佐賀・長崎	84	0	3,131	15
337-D	熊本・鹿児島・沖縄	144	0	4,375	4
337	計	428	0	14,884	75
総計		3,366	-3	112,521	658
世界のライオンズの		7.5%		8.6%	

日本ライオンズクラブ分布図

世界のライオンズ

2008.7.31　国際協会集計

ライオンズ国または領域	202
世界のクラブ数	45,040
世界の会員数	1,302,527
期首からの増減	-3,135

国	クラブ数	会員数
アメリカ	12,817	379,634
インド	5,144	156,741
日本	3,384	112,577
韓国	1,987	82,783
イタリア	1,310	50,259

ライオン誌10月号
昭和33年12月19日付第三種郵便物認可 定価180円 送料実費76円
2008年（平成20年）9月20日発行 毎月1回20日発行 第51巻第4号
発行所 ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
Tel 03-3542-9571
印刷所 凸版印刷株式会社

その新しさに驚く、香港へようこそ。

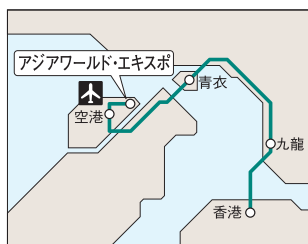
HONG KONG
LIVE IT. LOVE IT!
ハマル、ミリョク、香港。

香港らしさも加わった「香港ディズニーランド」をはじめ、
話題のスピリチュアル・スポット「ハート・スートラ」、
駅に直結したショッピング・モールなど、
次々と新しい魅力が増えていく香港。
街を目映いイルミネーションで彩り、さまざまなイベントや、
アトラクションいっぱいの「香港ウインター・フェスタ」で
さらに盛り上がる12月、
「第47回東洋東南アジアライオンズ・フォーラム（香港）」が開催されます。
この機会にまだ見ぬ香港へ、新しい刺激がきっと待っているはずです。

HONG KONG Disneyland

©Disney

第47回 2008年12月4日（木）～7日（日）開催
東洋東南アジアライオンズ・フォーラム（香港）
会場：アジアワールド・エキスポ

最新のテクノロジーを駆使し、
2005年にオープンした展示会・イベント施設です。
香港国際空港から1駅、
市内香港駅からはエアポートエクスプレスで28分という、
ロケーションの便利さも魅力。
国際的に注目を集めています。

ご登録特典

□香港ディズニーランドの入園無料（最新のディズニーランドをお楽しみください）
※"Fun at the Disneyland"実施時のみ
□香港歴史博物館、香港文化博物館の入館無料
その他、ショッピングやドリンクのディスカウントなど、
「第47回東洋東南アジアライオンズ・フォーラム（香港）」にご登録いただいた方には、
香港滞在中たくさんの特典をご用意しています。
※ご注意：特典内容は変更になる場合がございます。

「第47回東洋東南アジアライオンズ・フォーラム（香港）」ホームページ www.oseal2008.org.hk
香港政府観光局オフィシャルサイト www.DiscoverHongKong.com/jpn/